ResScan™

Version 5.3
臨床ガイド

日本語

目次

はじめに

ResScan™患者管理システムは、ResScan ソフトウェア、ResScan データカード、ResLink™、および ResScan シリアルアダプタおよび USB アダプタで構成されています。 このデータ収集システムは、患者の治療をモニターし最適に行うために治療装置からデータを得るように設計されています。 本システムは、患者データへのリモートアクセスと、臨床医と患者の治療装置 (互換性装置のみ) 間における双方向通信を提供しています。

データは、データ収集デバイス (ResLink または治療装置) に挿入されたデータカード (SmartMedia™ カード、ResScan データカード、Secure Digital (SD) カード) または ResMed USB スティックに収集されます。 臨床医は、データカード、ResMed USB スティック、あるいは装置から直接、使用するコンピュータへデータをダウンロードし ResScan で表示することができます。

ResScan の CD-ROM には、ResScan ソフトウェア、カードリーダ用ドライバ、そして PDF 形 式のさまざまな文書が含まれています。 ResScan 患者管理システム用のその他すべてのコンポーネントは、お買い上げ元の代理店より取り寄せることができます。

本取扱説明書が取り扱う範囲は、ResScan ソフトウェアのみに関連しています。

本 取扱説明書には、特定の重要な情報に注意していただくために特別な用語や記号が含まれています。

- 注意：本装置を安全にそして効果的に使用するための特別措置を説明するものです。
- 注記：参考情報や役立つ情報を記載しています。

使用目的

ResScan は、装置情報と治療情報を転送することによって、標準の患者のフォローアップ治療を補強することを目的としています。 これには、生命維持装置以外の装置のみの設定を遠隔で変更する機能が含まれます。

臨床医が ResMed の専用通信プロトコルを用いて、ResMed と互換性のある治療装置と併用するためのものです。

注意（米国のみ）

アメリカ合衆国連邦法は、本装置の販売を、医師による販売・注文販売に制限しています。

対応治療装置

ResScan 互換の装置の全一覧は、 www.resmed.com のサービス&サポートより、製品ページのデータ管理/対応装置一覧をご覧ください。

ResMed では、ResScan に表示されるデータの特定情報と併せ、互換治療装置のためのデータ管理ガイドを作成しております。

注記: 治療実施中にResScanを治療装置に接続しないでください。

インストール

お使いのコンピュータへ ResScan をインストールすると、ケーブルを使用して治療装置からデータを直接ダウンロードしたり、ResScan データカード、SmartMedia カード、SD カードまたは ResMed USB スティックからデータを読み込むことができます ResScan ソフトウェアおよびケーブルのご注文に関しては、お買い上げの ResMed 代理店までお問い合わせください。

推奨コンピュータ要件

以下は、システムを設定し、保存データの転送と印刷を行うのに必要な、コンピュータの推奨最低要件です。 ソフトウェアのインストールには、管理者権限がある確認が必要です。 管理者特権がない方は、コンピュータの管理者に連絡してください。

注記： 最小構成では性能は保証できません。

- Windows XP SP2 以降、Windows Vista Business、Windows Vista Home Premium、Windows 7 Home Premium 32 ビットおよび 64 ビット、Windows 7 Professional 32 ビットおよび 64 ビット。
- CD メディアからのインストールに必要な CD-ROM ドライブ。
- Microsoft Internet Explorer 6.0 またはそれ以降がインストールされている必要があります。
- 2.4GHz のプロセッサ以上を搭載したコンピュータ（IEC 60950 または EN 60601.1 準拠）（最低 1.7 GHz）。
- 1.0 GB の RAM（最小 512 MB）。
- ResScan アプリケーションには最低 250 MB のハードディスク空き領域が必要となります（患者ファイルの保存に必要なディスク領域はこれに含まれていません）。
- 信頼性の高い通信速度 56 k ボーレートが可能な RS232 接続用のシリアルポート（16550 UART など）。
- USB デバイス接続のための USB ポート。
- 印刷用のパラレルポート、シリアルポート、USB プリンターポート、またはネットワーク接続。
- モニタ/グラフィックカード（1024x768、16 ビットカラー、8 MB ビデオ RAM）。
- PDF リーダーがインストールされている必要があります（例 Adobe Reader®）。
- 任意： SmartMedia カードリーダー。
- 任意： ResScan データカードリーダー。

- 任意： SD カードリーダー。
- 任意： レポート E メール送信用の Microsoft Outlook 2000（以降)。

ResScan ソフトウェアのインストール

ResScan は CD に収録されているほか、専用 URL からダウンロードできます。 Windows XP SP2 以降､Windows Vista または Windows 7 のオペレーティングシステムが必要です。これらのいずれにも該当しない場合は、ResScan をインストールする前に当該のオペレーティングシステムをインストールするか、アップグレードする必要があります。 さらに、ターミナルサービス環境で使用するため、ResScan を Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 にインストールすることができます。

ResScan をインストールする前に他のアプリケーションがすべて終了していることを確認してください。

1. ResScan の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。 インストールが 自動的に開始されます。
2. インストールが自動的に開始されない場合は、**Start**（スタート）メニューから **Run**（実行）を選択し、CD-ROM ドライブの場所(通常は D:) とインストールプログラムの名称を入力して（例：**D:¥setup.exe**）から **OK** ボタンをクリックします。

   注記： ResScan をアップグレードした場合、保存した設定やカスタムレポート、患者ファイルはアップグレード後に引き続き使用できます。
3. インストールプログラムによりインストール処理が順に案内されますので、 画面の指示に 従ってください。

   インストール中に、インストールのオプションとして Complete（完全）または Custom（カスタム）を選択するダイアログが表示されます。 インストール先のディレクトリを既定の場所から変更するには、Custom（カスタム）を選択します。それ以外の場合は Complete（完全）を選択します。

   インストール中に、ResMed USB アダプタ、ResScan データカードリーダー、および ResMed USB Direct Connection のドライバをインストールするかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。 お使いのコンピュータにドライバがインストールされていない場合、この方法によるドライバのインストールをお勧めします。 あるいは、Windows の Start（スタート）メニューからドライバをインストールすることもできます。インストールするには、**Start**（スタート）> **Programs**（すべてのプログラム）> **ResMed** > **ResScan** > **Drivers**（ドライバ）の順に選択します。

   インストールプログラムが必要なファイルをすべてコンピュータにコピーし終えると、インストール完了のダイアログボックスが表示されます。

4. **Finish (完了)** ボタンをクリックしてインストール完了のダイアログを閉じます。
5. コンピュータの再起動が必要となる場合があります。 ダイアログボックスに再起動の指示 が表示された場合は、ResScan ソフトウェアへアクセスするためにコンピュータを再起動 する必要があります。

これでデスクトップ上の **ResScan** アイコンから ResScan を開始することができます。 アイコンが使用できない場合は、Windows の **Start**（スタート）メニューから ResScan を開始してください。

注記：

- 前にインストールした ResScan ソフトウェアでデフォルトの Patient Group Location（患者グループ位置）を変更した場合、新しいバージョンをインストールした後に Patient Manager（患者マネージャ）ウィンドウからそれをリセットする必要があります（「患者グループ位置 『*15*ページを参照 』」を参照）。
- Utilities（ユーティリティ）メニューからは、ResScan ヘルプと ResMed ウェブサイトにアクセスすることができます。
- ソフトウェアのお買い求めについては ResMed 担当者までお問い合わせください。

アンインストール

ResScan をアンインストールするには

1. コントロールパネルを開き、次の操作を実行します。
   - Windows XP の場合： **Add/Remove Programs**（プログラムの追加と削除）（Start （スタート） > Settings （設定） > Control Panel（コントロールパネル））を選択します。
   - Windows Vista、Windows 7、または Windows Server 2008 の場合：**Programs and Features**（プログラムと機能） （Start（スタート） > Control Panel（コントロールパネル） > Programs（プログラム））を選択します。
2. ResScan を選択し、アンインストールして指示に従います。

データカードリーダー用ドライバ

注記: ResMedから供給されたデータカードリーダーのみをご使用ください。

Windows スタートメニュー（スタート > すべてのプログラム > ResMed > ResScan > ドライバ > データカードリーダー) から対応する全データカードリーダーのドライバをインストールできます。 お使いのオペレーティングシステムに提供されているドライバのみが表示されます。

ResScan データカードリーダー

S8 シリーズ、S8 II シリーズまたは VPAP Auto を ResScan データカードと一緒に使用する場合、ResScan データカードリーダー用ドライバのインストールが必要となる場合があります。ResScan データカードリーダー - USB が必要となります (製品コード： 22207 または ACR 38U Smart Card Reader)。

SmartMedia カードリーダー

治療装置と併せて ResLink も使用している場合、SmartMedia カードリーダー用ドライバをインストールする必要があります。 ResMed では、2 つの SmartMedia カードリーダー – USB （製品コード： 22212；または CR-20) または PCMCIA のいずれかをお使いになることをお勧め します。

お買い上げ元の代理店へお問い合わせいただき、適切なリーダー装置の注文を行ってくだ さい。

SD カードリーダー

S9 シリーズをお使いの場合、SD カードリーダー – USB（製品コード: 36931)が必要になる場合があります。

データカードリーダー用ドライバのインストール

以下は、データカードリーダー用ドライバのインストール手順です。 お使いの Windows オペ レーティングシステムに合った手順に従い、インストールを行ってください。

お使いのコンピュータで、ResMed 機器用に USB ポートが 1 つしか利用できない場合は、USB ハブの使用が必要となる場合があります。 Mini USB Hub（ミニ USB ハブ、製品コード： 22211) により、コンピュータの 1 つの USB ポートに両方のカードリーダーを接続することが できます。

注記： 注記: ResScan SmartMedia カード リーダー (CR-20)、SD カード リーダー、およびミニ USB ハブのドライバはWindows XP/Vista/7にはすでにインストール済みです。 また、製造元からドライバを確認することもできます。 これらの装置を使用している場合、いずれの利用可能USBポートへも装置を接続することができます。

ResScan データカードリーダー（ACR 38U Smart Card Reader）用のドライバをインストールするには：

1. コンピュータにいずれのデータカードリーダーも接続しないでください。
2. ResScan がまだインストールされていない場合は、ResScan インストール CD-ROM を使用 して ResScan のインストールを行います。

3. Windows のスタートメニューから Data Card Reader（データカードリーダー）を選択します（スタート ＞ プログラム ＞ ResMed ＞ ResScan ＞ Drivers（ドライバ） ＞ Data Card Reader（データカードリーダー））。
4. Installation Wizard（インストールウィザード）にて、Install（インストール）のオプションを選択し指示に従います。

注記：

- コンピュータの再起動が必要となる場合があります。 ダイアログボックスにて再起動の指示 が表示される場合は、カードリーダーにアクセスを行うために再起動が必要となります。
- リーダー装置に関するさらに詳しい情報につきましては、ResMed よりお求めになったリー ダー装置パッケージに説明がございます。
- SmartMedia カードリーダー、 SD カードまたは ResMed USB スティックの接続／挿入が完了すると、Windows エクスプローラにドライブとして表示されます。

USB アダプタ用ドライバ

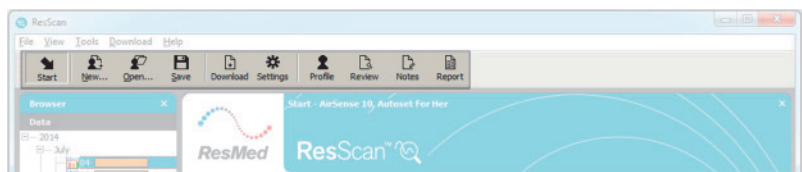
USB アダプタを治療装置と併用する場合、ResMed USB アダプタ用ドライバをインストールする必要があります。 このドライバは Windows スタートメニュー（スタート ＞ すべてのプログラム ＞ ResMed ＞ ResScan ＞ ドライバ ＞ ResMed USB Adapter（S8、S9））からインストールできます。

ResMed 換気装置用ドライバ

Stellar 装置を使用する場合、ResMed 換気装置用ドライバをインストールする必要があります。USB 接続の直結を可能にするこのドライバは、Windows スタートメニュー（スタート ＞ すべてのプログラム ＞ ResMed ＞ ResScan ＞ ドライバ ＞ ResMed USB Direct Connection（Stellar））からインストールできます。

ナビゲーション

ツールバー

ResScan には、次に挙げる 4 つのメイン画面があります – Profile(プロフィール)画面、Review(確認)画面、Notes(ノート)画面、Report(レポート)画面。 ツールバー上の対応する アイコンをクリックすることで、これらの画面を表示させることができます。

メニュー

File(ファイル)メニュー

File(ファイル)メニューで行われる操作は、患者ファイルに適用されます。 メニュー項目：

New（新規)： 新規の患者ファイルを作成します。

Open（開く)： 既存の患者ファイルを開きます。

Close（閉じる)： 現在開かれている患者ファイルを閉じます。

Save（保存)： 現在開かれている患者ファイルを保存します。

Compliance Export（コンプライアンスエクスポート)： 期間を指定すると当該期間内にコンプライアンスデータのある患者の一覧が作成されます。 「コンプライアンス」を参 照してください。 『23ページを参照 』

インポート： 患者ファイルをインポートします(ResScan 3.0 以上)。 「Importing patient files(患者ファイルのインポート) 『17ページを参照 』」を参照してください。

Export（エクスポート)： 複数の患者ファイルを CSV 形式の単一ファイルにエクスポートします。 「データファ イルのエクスポート」 『17ページを参照 』を参照してください。

Exit（終了)： ResScan を閉じます。

View(表示)メニュー

View(表示)メニューからは、Start(スタート)、Profile(プロフィール)、Review(確認)、Notes(ノート)、Report(レポート)の各画面へアクセスすることができるほか、ブラウザの表示・非表示を切り替えることができます。 「ブラ ウザ」 『27ページを参照 』を参照してください。

Tools(ツール)メニュー

Tools(ツール)メニューからは、フォーマット情報、患者ファイル管理、治療装置設定調節などのためのカスタマイズツールへアクセスすることができます。

オプション： グラフやレポートのユーザ設定を設定します。「Options（オプション） 『52ページを参照 』ダイアログ」を参照してください。

Patient Manager（患者マネージャ)： グループ化などの患者ファイルの整理を行います。「Patient File Manager（患者ファイルマネージャ)」を参照してください。 『15ページを参照 』

Device Settings（装置の設定)： 接続されている治療装置の設定変更を行ったり、遠隔治療装置の設定変更を行うためにデータカードに設定を読み込んだりします。「設定」を参照し てください。

Download(ダウンロード)メニュー

Download(ダウンロード)メニューから Download(ダウンロード)を選択し、接続された治療装置またはデータカードからデータをダウンロードします。

Help(ヘルプ)メニュー

Help(ヘルプ)： 目次タブ、キーワードタブ、検索タブを持つオンラインヘルプのファイルを表示します。

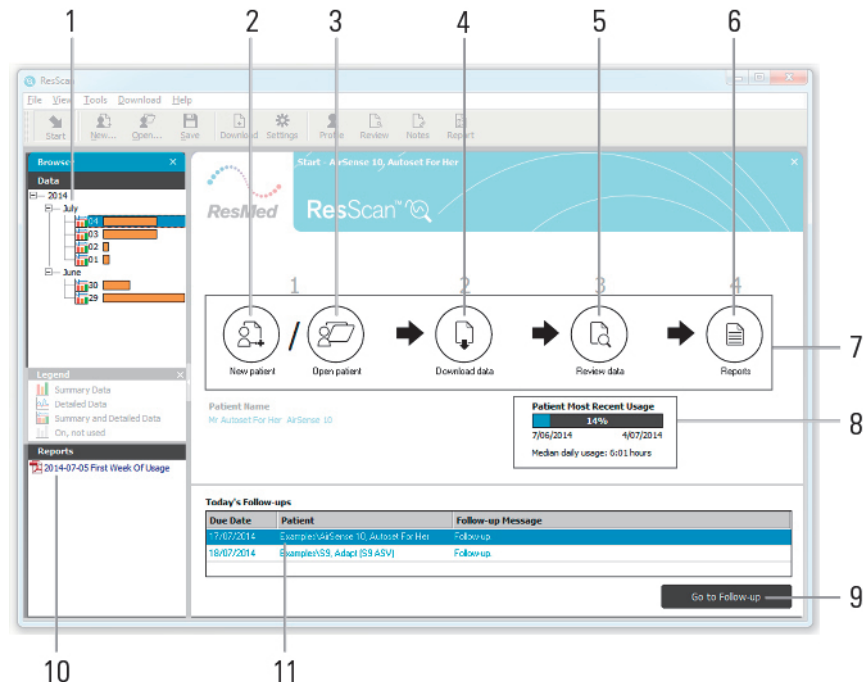
ResMed on the Web： ウェブサイトへのアクセスが可能な場合、このメニュー項目から、全 ResMed 製品に関する情報、および睡眠呼吸障害の最新研究に関する情報が提供されている ResMed のウェブサイトへアクセスすることができます。

Contact Us（連絡先)： ResMed へ E メールを送信します。

About（バージョン情報)： ソフトウェア名とそのバージョンを表示します。

Start(スタート)画面

Start(スタート)画面では、ResScan ソフトウェアをユーザーに案内し、開いている患者ファイルの概要表示を行います。

注記： 以下の画面で左端に表示されているブラウザに、データの利用可能状況が表示されます。 ブラウザに表示されるバーの長さは、使用状況の簡単な目安となります。

1	ブラウザ
2	New patient 新規患者)ボタン
3	Open patient(患者ファイルを開く)ボタン
4	Download data(データのダウンロード)ボタン
5	Review(確認)ボタン
6	Report(レポート)ボタン
7	Workflow(ワークフロー)アイコン
8	Preferences（ユーザー設定）『52ページを参照 』の Compliance Threshold（コンプライアンス閾値）および Start Screen Usage（スタート画面使用表示）で定義される最新使用状況
9	Follow-ups(フォローアップ)へのアクセス
10	保存されているレポート
11	ダブルクリックして患者ファイルを開く

Start(スタート)画面では、患者データの管理に関わる作業の流れが、一連の流れとして表示されます。 いずれの時点においても、Start(スタート)画面へ戻って作業の流れの中で異なるステップへ移動することができます。

患者最新使用状況バー

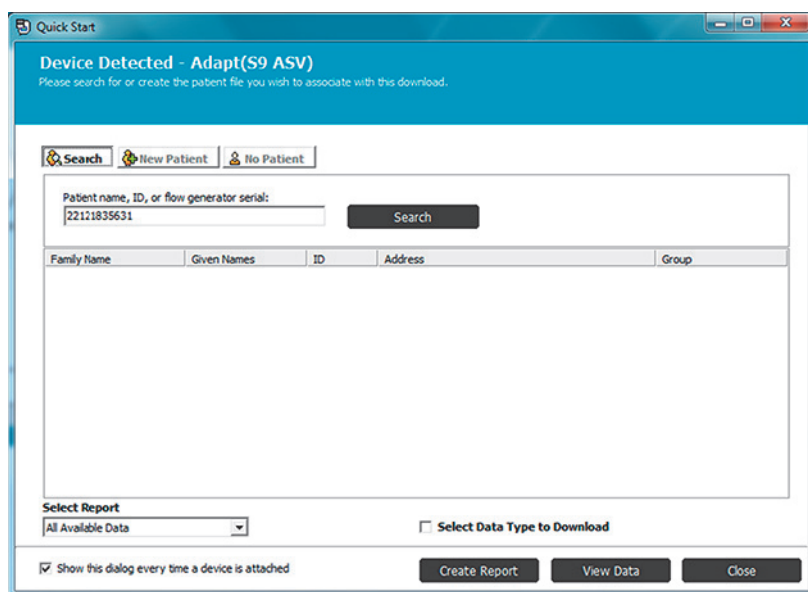
患者ファイルを開くと、Patient Usage Bar（患者最新使用状況バー）が、患者の治療コンプライアンスの概要を表示します。 バーに表示されるパーセンテージの値は、指定された使用期間（例: 1 週間、1 ヶ月など）において所定のコンプライアンス閾値（例: 1 日 4 時間）以上で患者が装置を使用した日数に基づいています。 コンプライアンス閾値および使用期間は、Tools(ツール)メニューの Options(オプション)ダイアログで設定することができます。 表示される一日使用の値は中央値です。

フォローアップ

フォローアップを設定すると、予定日当日または予定日を過ぎた場合に Start(スタート)画面にフォローアップが表示されます。 行を選択して **Go to Follow-up**（フォローアップへ移動）ボタンを選択するか、あるいは **Todays' follow-ups**（今日のフォローアップ）の表にある目的のフォローアップに対応する行をダブルクリックすることで、Start(スタート)画面から直接 Follow-up(フォローアップ)画面へ移動して詳細を確認することができます。 予定日を過ぎたフォローアップは赤く表示されます。

フォローアップに関する詳細は、本書の「フォローアップを設定する」を参照してください。

クイックスタート

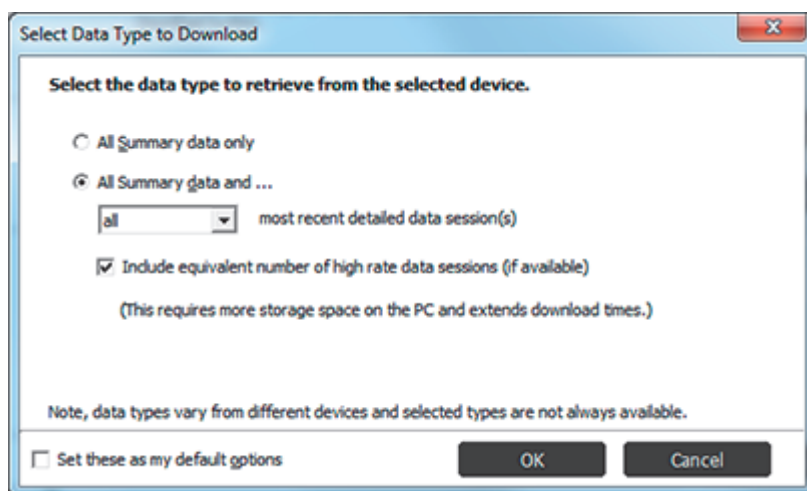
「クイックスタート」を使用することにより、4 段階の完全ワークフローでナビゲートすることなしに、1 段階で直ちに患者データをダウンロードしレポートを作成することができます。 互換性のある治療装置を PC に接続するか、データカードを挿入するたびに、ダイアログが表示されます。 このダイアログから直接新規または既存の患者のデータをダウンロードしてレポートを作成できます。

「クイックスタート」機能はデフォルトで有効になっているため、治療装置を接続するかデータカードを挿入すると、自動的にダイアログが表示されます。 「クイックスタート」機能を無効にするには、Tools(ツール) > >Options(オプション) > >Download(ダウンロード)から「Show this dialog every time a device is attached(装置を接続するたびにこのダイアログを表示する)」のチェックをオフにします。

注記：

- ResScan は、ダイアログボックスが開く前にインデックスメッセージを表示します。 通常、これは短いメッセージですが、Cancel(キャンセル)ボタンを押せばインデックス操作を中止できます。
- Lumis Tx device(装置)からデータをダウンロードする場合は「クイックスタート」ダイアログは表示されません。

Select Data Type to Download(ダウンロードするデータの種類を選択)

ResScan がダウンロードするデータの種類を変更する場合、Quick Start(クイックスタート) ダイアログボックスで Select Data Type to Download（ダウンロードするデータの種類を選択）のチェックボックスをチェックします。

1. Create Report(レポート作成)あるいは View Data(データ表示)をクリックしてください。 ダウンロードするデータ量を変更するためのダイアログボックスが表示されます。

2. 気流、圧力、ブレスバイブレスなどの高速データをダウンロードする場合は、 All Summary data and(すべての概要データ)...オプションを選択します。 この下のドロップダウンが有効になります。 必要なセッション数を選択し、Include equivalent number of high rate data sessions (if available) (可能であれば高速データセッションを同数含める)のチェックボックスをオンにします。
3. これらの設定を保存する際は、Set these as my default options(マイデフォルトとして設定する)のチェックボックスをオンにします。
4. OK をクリックしてください。

患者ファイル

患者ファイルの作成

患者ファイルを作成するには、New Patient(患者の新規作成)ボタンをクリックし、詳細を入力します。

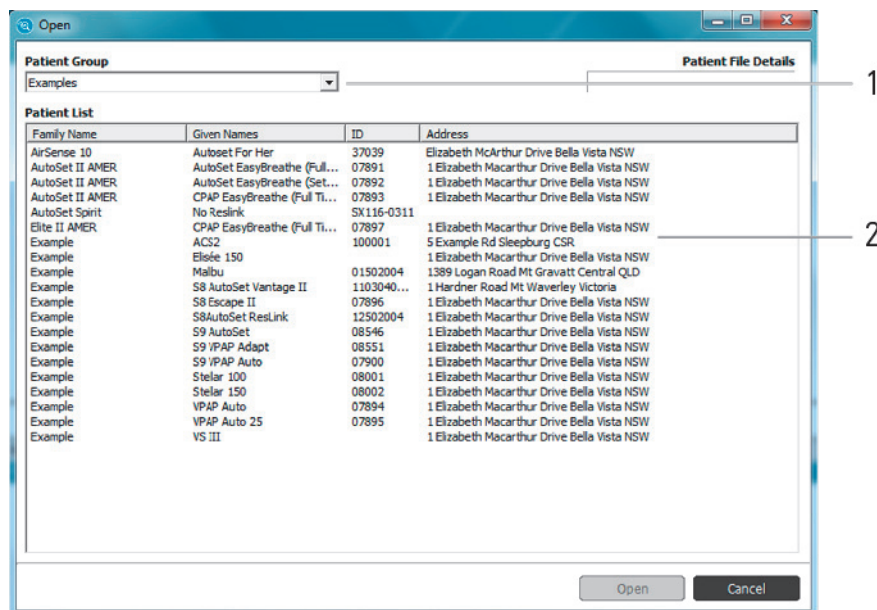
File(ファイル)メニューまたはツールバーアイコンから New(新規作成)を選択しても同様の操作が行えます。

同じ名前を持つ患者が既に存在する場合は、警告ダイアログが表示されます。 そのまま継続して、同じ名前で患者ファイルを作成することもできます。

既存の患者ファイルを開きます。

患者ファイルを開くには、Open Patient(患者ファイルを開く)ボタンをクリックします。

注記： ResScanは、ダイアログボックスが開く前にインデックスメッセージを表示します。通常、これは短いメッセージですが、Cancel(キャンセル)ボタンを押せばインデックス操作を中止できます。

Open(開く)ダイアログボックスが表示されます。

1	患者グループメニュー
2	患者リスト

Patient List(患者リスト)から患者名を選択します。 既に患者をグループ化して整理してある場合、目的のグループを選択し、Patient List(患者リスト)から患者ファイルを選択します。 開かれるグループは、最も最近使用されたグループとなります。 Patient File Details(患者ファイルの詳細)には、個々の患者ファイルのサイズとファイル数が表示されます。

File(ファイル)メニューまたはツールバーアイコンから Open(開く)選択しても同様の操作が行えます。

既存の患者ファイル内の情報を編集するには、Profile(プロフィール)画面を使用します（Profile(プロフィール)画面 『24ページを参照 』参照)。

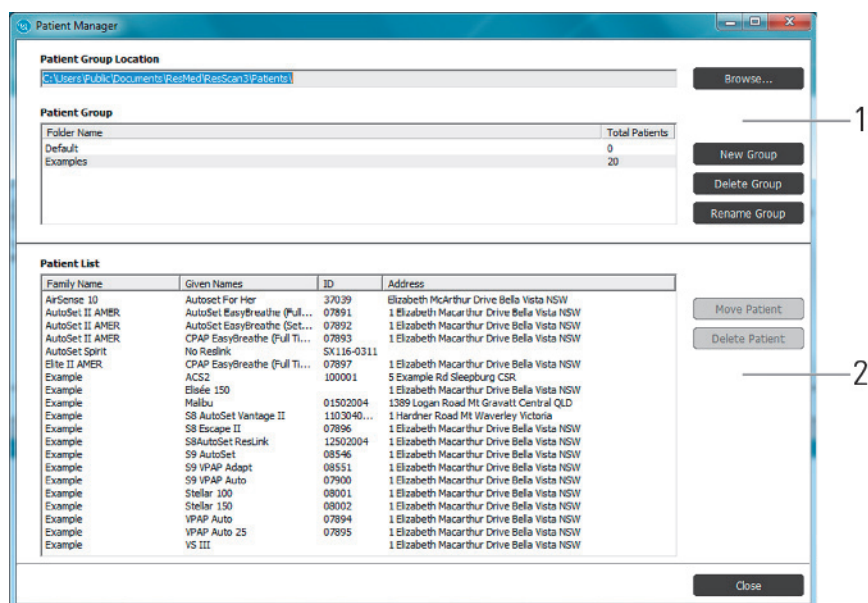
注記：

- 患者ファイルへは、1 度に 1 ユーザーずつのみアクセスしてください。
- ネットワーク ドライブに保存されている患者ファイルに対してはいずれも、複数の ResScan ユーザーからの同時アクセスをしないようにしてください。

Patient File Manager（患者ファイルマネージャ)

患者ファイルはすべて ResScan 内でグループ化し整理することができます。患者の担当医、週間日数、またはその他の条件により、患者ファイルを整理することもできます。

注記： ResScanは、ダイアログボックスが開く前にインデックスメッセージを表示します。通常、これは短いメッセージですが、Cancel(キャンセル)ボタンを押せばインデックス操作を中止できます。

新規グループの作成、または患者ファイルの並べ替えを行うには、Tools(ツール)メニューからPatient Manager(患者マネージャ)を選択します。

1	グループの整理
2	患者の整理

グループの整理

右側のボタンをクリックするだけで、新規グループの作成や、グループの削除、グループ名 称の変更を行うことができます。Delete Group（グループ削除）ボタンを使用すると、グルー プは削除されそのフォルダ内にある全ファイルが削除されます。

患者の整理

患者ファイルをグループ内へ移動したり、ファイルを削除したりすることができます。 同名の複数患者に関しては、それぞれ ID 番号や住所で識別することができます。

患者グループ位置

初期設定の患者ファイルの場所はオペレーティングシステムによって異なります。

- Windows XP の場合：- C:\Program Files\ResMed\ResScan3\Patients
- Windows Vista および Windows 7 の場合： – C:\Users\Public\Public Documents\ResMed\ResScan3\Patients

ネットワークドライブなど別の場所を選択することもできますが、実行に移す前に現地の IT ポリシーやネットワークパフォーマンスなどを検討してください。

既定の患者グループ位置を変更するには

1. Patient Manager(患者マネージャ)ウィンドウで、Browse(参照)ボタンをクリックします。
   Patient File Location(患者ファイル位置)ウィンドウが表示されます。
2. 目的の Patient Group Location(患者グループ位置)を探し、OK ボタンをクリックします。

   注記： Patient Group Location(患者グループ位置)を変更するには、お使いのコンピュータの管理者特権が必要です。

データファイルのインポート

既存の ResScan 3.0(またはそれ以降)のデータファイルをインポートすることができます。

1. File(ファイル)メニューから Import(インポート)を選択します。Import Patients(患者ファイルインポート)のダイアログが表示されます。
2. Import From(インポート元)フィールドから、ファイルのソースを選択し、続いて必要なファイルを選択します。
3. Import To(インポート先）のフィールドでは、表示される患者グループからファイルの宛先を選択します。

Automatically overwrite pre-existing patients(既存の患者に自動上書きする）のチェックボックスをチェックすると、インポートされるファイルが、ResScan に既に存在する同 一名称のファイルに上書きされます。

データファイルのエクスポート

ResScan の概要データを患者ファイルから CSV 形式ファイルにエクスポートすれば、他のプログラムでも使用できます。

1. File(ファイル)メニューから Export(エクスポート)を選択します。 患者ファイルを CSV 形式にエクスポートするためのダイアログボックスが表示されます。

   注記： ResScan は、ダイアログボックスが開く前にインデックスメッセージを表示します。 通常、これは短いメッセージですが、Cancel(キャンセル)ボタンを押せばインデックス操作を中止できます。

2. Patient Group(患者グループ)のドロップダウンリストから患者グループを選択します。
3. CSV ファイルを作成する日付の範囲を選択します。
4. 患者リストから患者ファイルを選択します（複数可）。
5. Export Selected(選択範囲のエクスポート)ボタンをクリックします。

選択した患者ごとに CSV ファイルが生成されます。 ファイル名は患者名になります。

あるいは、Export All(すべてをエクスポート)ボタンを押して、患者グループの中のすべての患者ファイルを単一の CSV ファイルにエクスポートすることもできます。 この場合、CSV ファイルには患者グループの名称が付きます。

ファイルのエクスポートが完了すると、ファイルが保存されているマイドキュメント ¥ ResMed¥ResScan¥ エクスポート(Windows XP)、あるいは< ユーザー名>¥ ドキュメント ¥ ResMed¥ResScan¥ エクスポート(Windows Vista および Windows 7) のいずれかのフォルダで エクスプローラが自動的に起動します。

注記： エクスポートするデータに関しては単位の選択ができません。 例：Options(オプション)ダイアログボックスでhPaを選択しても、エクスポートされる圧力の単位は常にcm H_2O です。

データをダウンロードする

注記： 治療実施中にResScanを治療装置に接続しないでください。

ResScan ソフトウェアのインストールが完了すると、治療装置から直接、あるいはデータカードを介してデータをダウンロードすることができます。

データは、Summary Data（概要データ)または Detailed Data（詳細データ）のいずれかとして定義されています。 概要データは、Review（確認）画面の Summary Graphs（概要グラフ）タブで表示させることができます（「Summary Graphs （概要グラフ）タブ」参照 『34ページを参照 』）。 詳細データは、Review（確認）画面の Detailed Graphs（詳細グラフ）タブで表示させることができます（「Detailed Graphs （詳細グラフ）タブ」参照 『36ページを参照 』）。

ResScan の互換デバイスの全リストは、www.resmed.com/resscan/compatibility を参照してください。 インターネットにアクセスできない方は、弊社代理店までお問合せください。

データ管理（例えば、ダウンロードの機能）に関する情報は、www.resmed.com で見つけることができます。 **Clinicians**（臨床医）のセクション内で、**Service & Support**（サービスおよびサポート）、次に **Data Management Guides**（データ管理ガイド）に移動し、適切な装置の PDF を開きます。

カードリーダーまたは ResMed USB スティックのコンピュータへの接続

ResScan データカードリーダー

リーダー装置の説明書に従って ResScan データカードリーダーをコンピュータへ取り付けます。 金色の接触端子が上を向くように、ResScan データカードをリーダー装置へ挿入します。

SmartMedia カードリーダー

SmartMedia カードリーダーのコンピュータへの接続の詳細は、5 ページの「SmartMedia カードリーダー」 『6ページを参照 』を参照してください。 患者の治療装置から得られる詳細データおよび概要データは、ResLink により SmartMedia カードに保存されます。 そしてこのデータをダウン ロードして ResScan で表示することができます。

SD カードリーダー

リーダー装置の説明書に従って SD データカードリーダーをコンピュータへ取り付けます。 SD カードをしっかりと SD カードスロットに挿入します。

ResMed USB スティック

ResMed USB スティックを利用可能な USB ポートへ挿入します。 別のリーダーは必要ありません。

ダウンロードの手順

1. **Download**(ダウンロード)メニューから **Download**(ダウンロード)を選択するか、または Start(スタート)画面にて **Download Data**（データのダウンロード）ボタンをクリックします。Download Data（データのダウンロード）ダイアログボックスが表示されます。

   注記： 患者ファイルが開いていない場合、患者ファイルを開くまたは作成する、あるいは患者ファイルなしで続行するよう指示が表示されます。 患者ファイルなしに続行する選択をし た場合、ダウンロードしたデータはいずれも保存することができません。

   ResScan は接続されている装置（治療装置またはデータカード）を自動的に検出します。

   注記： 1 度に複数の device(装置)またはカードを PC に接続しないことをお勧めします。

2. ダイアログボックス内の詳細が正しければ、**Start Download**（ダウンロード開始）をクリックします。データの種類を選択する場合は、Data（データ）フィールドの隣にある **Select**（選択）ボタンをクリックします。

   ダウンロードするデータの種類を変更するには、Data（データ）フィールド横の **Select**(選択)ボタンをクリックし、ダウンロードするデータの種類と量を設定します。

   複数の治療装置またはデータ装置が接続されている場合、Device（装置）フィールドの隣にある **Select**（選択）ボタンをクリックし、ダウンロードを行う装置を選択します。

Typical Download Times（通常ダウンロード所要時間）フィールドには、Device（装置）フィー ルドおよび Data（データ）フィールドの詳細に基づき、データのダウンロードに通常かかる推 定時間が表示されます。

ダウンロードの実行中は、色付きの進捗バー、ダウンロードメッセージ、パーセント表示進 捗インジケーターが表示されます。

ダウンロードが完了したら **Close**（閉じる）ボタンをクリックし、Review(確認)画面にてデータを確認します。

注記： ダウンロード時間は、治療装置と保存されているデータによって変わります。 通常は1〜7分間程度かかります。

データカードまたは ResMed USB スティックを取り外す

1. タスクトレイのハードウェアの取り外しまたは取り出しアイコンをクリックします。
2. リストから SmartMedia カードリーダー、SD カードリーダーまたは ResMed USB スティックを選択します。
3. 「このハードウェアは安全に取り外すことができます」と表示されたら、カードリーダーから SmartMedia カードまたは SD カードを、あるいは USB ポートから ResMed USB スティックを取り外します。

複数の患者データのダウンロード（Lumis™ Tx のみ）

異なる夜に異なった患者によって使用された Lumis Tx 装置からデータをダウンロードする場合、指定した期間からデータをダウンロードすることができ、それを患者に関連付けることができます。

1. 患者の各夜間の Lumis Tx device(装置)使用の個人記録を維持します。
2. Lumis Tx 装置で使用する SD カードをコンピュータに接続します。

   注記： Lumis Tx 装置からデータをダウンロードする場合には「クイックスタート」ダイアログは表示されません。
3. 必要な患者ファイルを開く 『14ページを参照 』か、あるいは新規の患者ファイルを作成して、 『14ページを参照 』データを関連付けます。
4. ツールバー 『8ページを参照 』または Start(スタート)画面のワークフロー 『10ページを参照 』から **Download**(ダウンロード)を選択します。
5. Patient(患者)から、複数の患者のデータを含む装置を選択します。
6. Data(データ)から、以下を選択します。
   - ダウンロードしたいデータのタイプ
   - データをダウンロードする日付の範囲
7. **Start Download**(ダウンロードの開始)を選択します。

治療装置をコンピュータに接続する

ResScan にデータをダウンロードするには、ケーブルを使用してお使いのコンピュータを治療装置に接続する必要があります。

注記： 1度に複数の装置をPCに接続しないことをお勧めします。

治療装置の PC 接続ポートと、利用可能な USB ポートかコンピュータ背面にあるシリアルポートへケーブルを差し込みます。 必ずお使いの治療装置用の正しいケーブルを使用してください。 治療装置の電源をオンにします。

注記： 一部のResMed治療装置には電源スイッチがありません。

表 1: 治療装置接続用の ResMed ケーブル

治療装置の種類	**ResMed ケーブル**
AutoSet CS2、AutoSet シリーズ、S7 シリーズ、S8 シリーズ、S8 II シリーズ、VPAP Adapt SV、VPAP III シリーズ、VPAP IV シリーズ、VPAP Malibu、VPAP Auto シリーズ、VPAP S、VPAP ST	ヌルモデム用ケーブル (製品番号： 17952)
S9 シリーズ、Stellar 100、Stellar 150	USB ケーブル（製品番号： R222-702)

注記： 必ずお使いの治療装置用の正しいResMedケーブルを使用してください。 S8 シリーズ、 S8 II シリーズ、VPAP IV シリーズ、VPAP Auto シリーズ、VPAP S およびVPAP ST については、 ResScan シリアルアダプタ（製品番号： 22201）またはResScan USB アダプタ（製品番号： 22203）を使用する必要があります。 S9 シリーズでは、S9 USB アダプタ（製品番号： 36950）を使用する必要があります。

コンプライアンス

ResScan には、患者の状態が米国の Medicare コンプライアンスの要件[1]に適合しているかどうかを確認し、適合している証拠を示すものとして、最初の 30 日間分のレポートを作成する機能があります[1]。

患者のコンプライアンスはいつでも見直しができます。 患者のコンプライアンスが完了したら、30 日間のコンプライアンスレポートを作成できます。

30 日間コンプライアンスレポートの生成

1. **Reports**（レポート）アイコンをクリックします。
2. **Select Report** (レポート選択)のドロップダウンメニューから **30 Day Compliance**(30 日間コンプライアンス)を選択します。
   - 患者が適合していない場合:

     警告メッセージが表示されます。 **OK** をクリックしてください。 **Usage Compliance**（使用状況のコンプライアンス）レポートが表示されるので、内容を確認します。
   - 患者が適合している場合:

     30 日間コンプライアンスレポートが生成されます。 Statistics（統計） セクションで **Usage** （使用状況） および **30 Day Compliance** (30 日間コンプライアンス) パラメータを確認し ます。

コンプライアンスのレビュー

1. **Review**（確認）アイコンをクリックし、**Statistics**（統計）タブを選択します。
2. **Viewing Range** (表示期間範囲)ドロップダウンで、**30 Day Compliant Period**(30 日コンプライアンス期間)を選択します。

コンプライアンスレポート

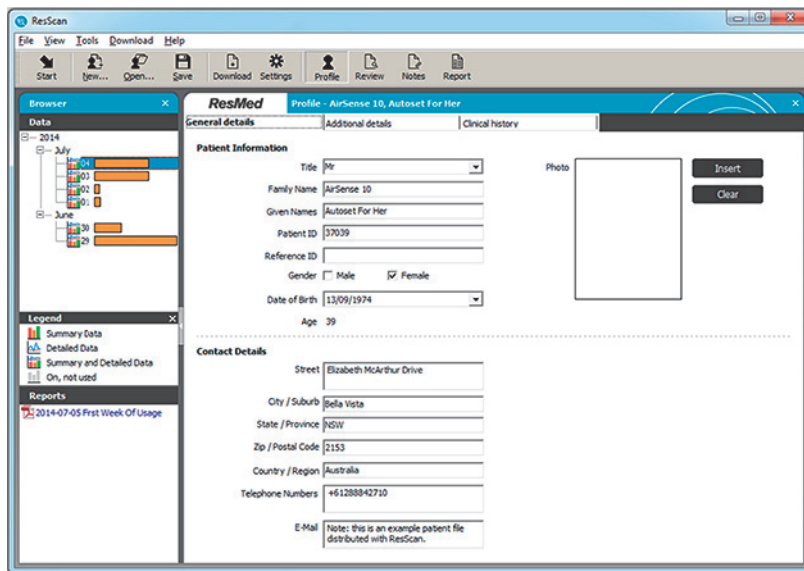
1. **File** (ファイル)メニューで **Compliance Export**(コンプライアンスのエクスポート)をクリックします。
2. 必要な期間を選択するか、カスタム期間を指定します。
3. **View Patients**(患者の表示)をクリックします。 コンプライアンス期間が選択した期間中に終了する患者の一覧が表示されます。 選択した期間内で適合している患者、および患者のコンプライアンスを特定することができます。

[1] 治療に適合しているかどうかは、初回使用時 3 ヶ月期間中の連続 30 日間のうち 70% において、PAP の使用が一晩で 4 時間以上であるかどうかによって定義されます。CMS (Centers for Medicare and Medicaid Services)、LCD for PAP Devices for the Treatment of OSA、 Jurisdiction A、B、C、D、 updated April 1 2010。

Profile(プロフィール)画面

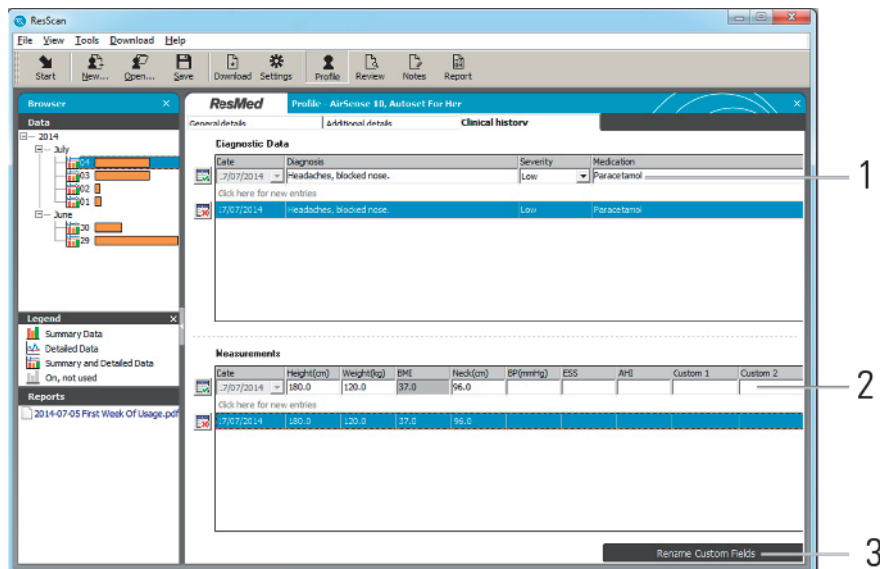
Profile(プロフィール)画面では、各患者の医療詳細情報および連絡先詳細情報について保守・表示を行います。

注記： 各患者のデータが実際にダウンロードされ、その患者用の患者ファイルに保存されるよう、ユーザーが責任を持って確認を行ってください。

Profile(プロフィール)画面には、患者個人の詳細用のタブが 2 つと患者の臨床履歴用のタブが 1 つあります。

General Details（全般詳細）と Additional Details（追加詳細）

General Details（全般詳細）タブのフィールド内では患者個人の詳細（連絡先住所など）を入力 することができ、Additional Details（追加詳細）タブでは、患者が加入している保険会社、治 療装置、紹介医師などに関する情報を入力することができます。

Clinical History(臨床履歴)

Clinical History(臨床履歴) では、患者の診断データや計測値の詳細を入力することができます。 患者の臨床履歴をレポートの一部として含めることができます。

1	診断データの新規エントリー列
2	測定値の新規エントリー列
3	測定値フィールド名のカスタマイズ

新規エントリーを作成するには

新規エントリーを作成するには、新規エントリー列をクリックします。 最上列は空白になっており、情報を追加できます。 エントリー入力を完了しエントリーの追加/変更ボタンをクリックすると、 エントリーがリストに追加されます。

エントリーを変更するには

エントリーを変更するには、まずリストにあるエントリーをクリックします。 最上列にエントリーの詳細が表示され、そこで必要な変更を行うことができます。 Add/alter entry(エントリーの追加/変更)ボタンをクリックして新規の情報を追加します。 エントリーがリストに戻ります。

エントリーを削除するには

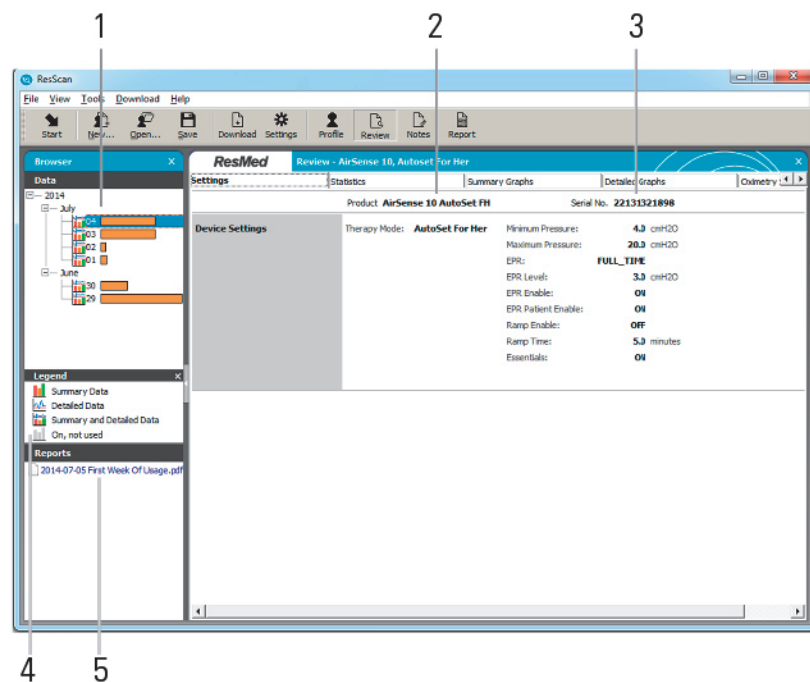
エントリーを削除するには、削除するエントリーをクリックし、 Delete entry(エントリーを削除)ボタンを押します。

Review(確認)画面

Review(確認)画面の各セッションは、ある特定の日の正午からその翌日の正午までの 24 時間にわたる使用を示します。

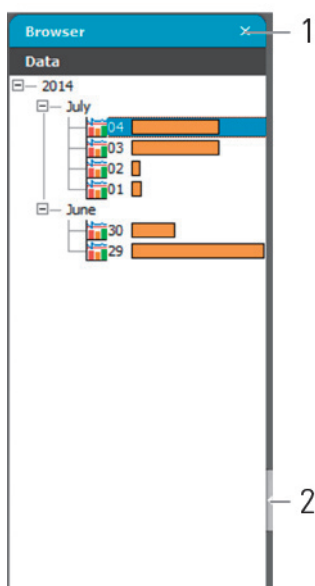
画面には以下の 6 つのタブが表示されています。

- 基本設定
- 統計
- 概要グラフ
- 詳細グラフ
- Oximetry Statistics（酸素飽和度測定統計）
- Device Log（装置ログ）

それぞれのタブでは、画面上部付近に Product（製品名）および Serial No.（シリアル番号）が表示されます。

1	ブラウザ
2	Product(製品名)では device(装置名)が表示されます。
3	Serial No. （シリアル番号)は特定の装置を表示します。
4	ブラウザの Legend(凡例)
5	保存されているレポート

ブラウザ

ブラウザは、各タブに表示されるデータに対して日付を選択するために使用されます。 ブラウザには、現在の患者ファイルに対しデータがダウンロードされた日付がすべて表示されます。 年と月を展開し日を表示させせます。 ある一定の期間で日付を選択するには、目的の最初 の日付にカーソルを合わせ最後の日付までドラッグします。 ブラウザおよび Summary Graphs（概要グラフ）タブにて、これらの日付がハイライトされます。 Statistics（統計）タブで は、選択された日の統計が表示されます。

ブラウザを開く・閉じる

1	クリックしてブラウザを閉じます。
2	クリックしてブラウザを再度開きます。

ブラウザを閉じるには、右側最上部角の X 印をクリックするか、またはブラウザとメイン画面の間にある三角印をクリックします。 ブラウザの選択解除は View(表示)メニューからも行うことができます。

ブラウザが閉じると、三角印は画面の左端に表示されます。 これをクリックしてブラウザを再び開くか、View(表示)メニューから Browser(ブラウザ)を選択します。

Legends(凡例)

以下はブラウザに表示される Legend（凡例）の説明です。

概要データが利用可能

詳細データが利用可能です

概要データと詳細データが利用可能

利用可能データなし（装置電源オン)

注記：

- 特定のデータがブラウザにない場合、装置の電源がオフになっていることを示しています。
- ブラウザで右クリックし legend（凡例）オプションを選択することで、凡例の表示・非表示を切り替えることができます。

詳細データセッションを選択する

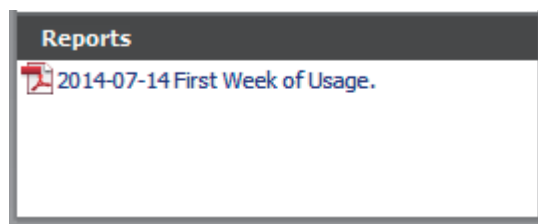
詳細データを表示するには、Detailed Graphs（詳細グラフ）タブへ移動し、表示させたいセッションをダブルクリックします。

注記： 詳細データセッションが利用できるか否かは、Detailed Data（詳細データ）アイコン、またはSummary Data（概要データ）およびDetailed Data（詳細データ）アイコンにより表示されます。

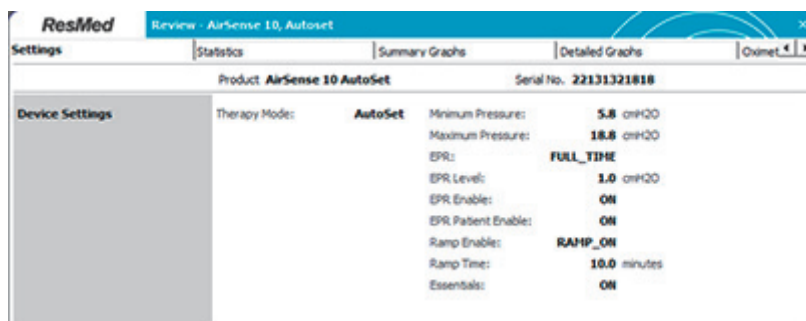
ブラウザに表示されるバーの長さは、使用状況の簡単な目安にもなります。

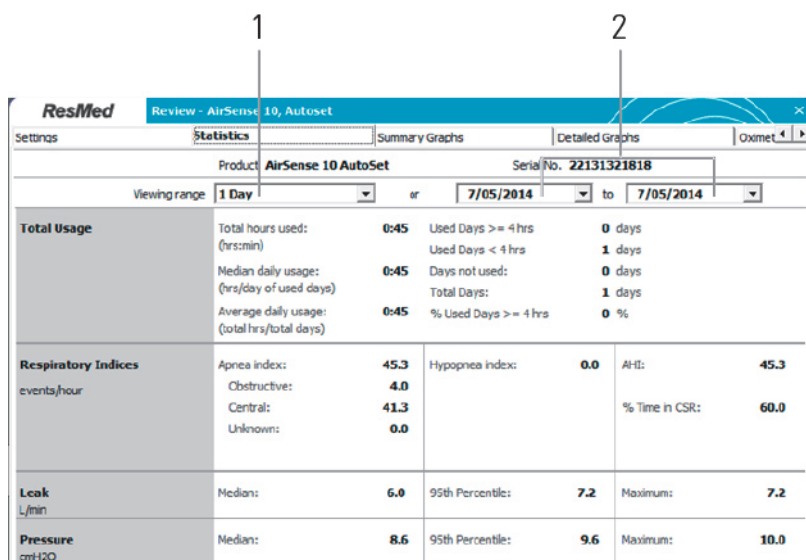
日付を右クリックしてから delete（削除）オプションを選択することで、データを削除することができます。

保存されたレポートを表示する

ブラウザの下部には、PDF 形式で保存されているレポートが表示されます。

レポートの名称をダブルクリックするとそのレポートが開かれます。また、レポートの名称を右クリックしてそのレポートを開くかまたは削除します。

Setting（設定）タブ

Setting（設定）タブにブラウザで選択した日での装置と治療の設定が表示されています。

Statistics(統計) タブ

Statistics（統計）タブでは、ブラウザで選択されたデータの統計を表示したり、あるいはViewing Range（表示期間範囲）メニューで選択された期間範囲のデータ統計を表示します。

1	表示する期間を選択します。
2	表示する日付の範囲をカスタマイズします。

左のドロップダウンリストでは、1 日から 1 年までの期間を選択することができます。

期間範囲は、右側にある 2 つのドロップダウンメニューのカレンダーから選択してカスタマイズを行います。

「Used Days > XX:YY (使用日数)」として扱われる時間数をカスタマイズするには、**Tools**（ツール）メニューの **Options**（オプション）ダイアログにある Compliance Threshold（コンプ ライアンス閾値）を使用してください(「Preferences （ユーザー設定）タブ」参照 『52ページを参照 』)。

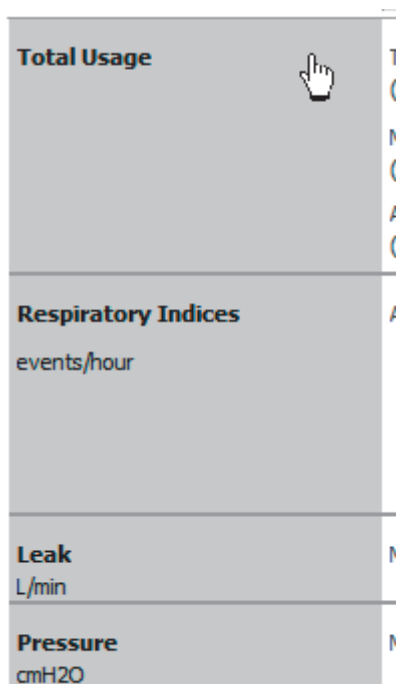
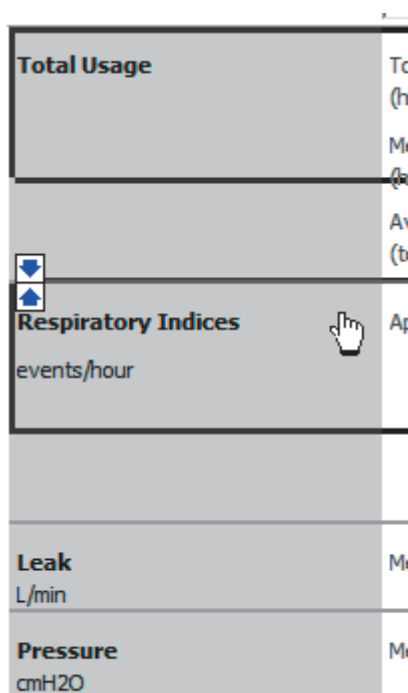
統計値

Statistics(統計)タブでは、関連する治療装置の値が説明されています。 このタブでは以下のような値が表示されます：

- **Mean**（平均値）： 選択した範囲内で記録された平均値。
- **Median**（中央値）： 選択された期間範囲に記録された中央値。
- **95th Percentile(95** パーセンタイル値)： 時間の 5 パーセントに対し、選択された期間範囲に 超過した値。
- **Maximum**（最大値）： 選択された期間範囲に記録された最大値。
- **5th Percentile(5** パーセンタイル値)： 時間の 95 パーセントに対し、選択された期間範囲に 超過した値。

表示の順番を変更する

行を配置し直すことで、統計の表示順を変更することができます。 行を配置し直すには

1. マウスポインタが手の形に変わるまで、マウスポインタを行のタイトル領域に移動させます。

2. クリックしてから、行を配置したいところまでドラッグし青色の矢印が表示されたらマウスのボタンを放します。

3. 配置をし直す他の行に対しても同様の操作を繰り返します。

Summary Graphs（概要グラフ）および Detailed Graphs（詳細グラフ）

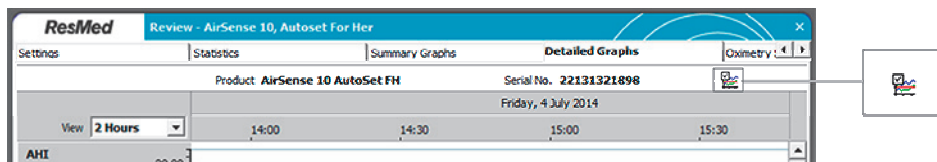
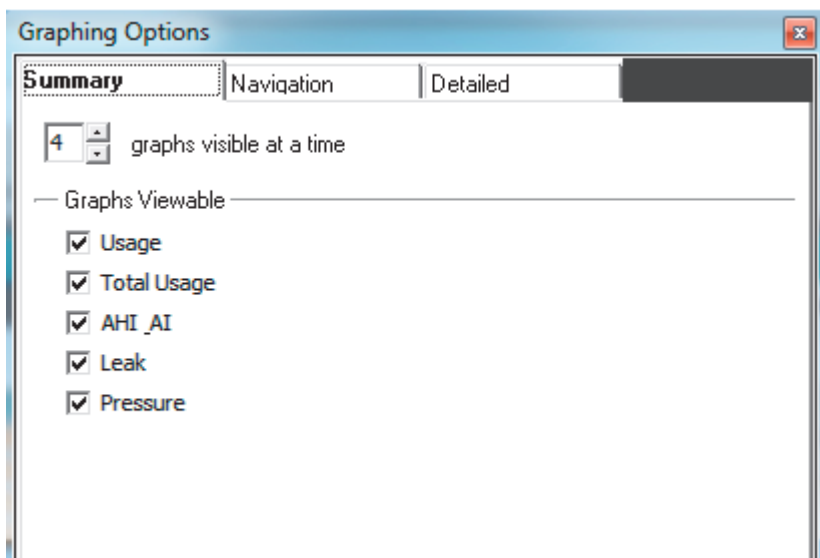
注記： 以下に記載の情報は、Summary Graphs（概要グラフ）タブおよびDetailed Graphs（詳細グラフ）タブの両者に適用されます。

パラメータ

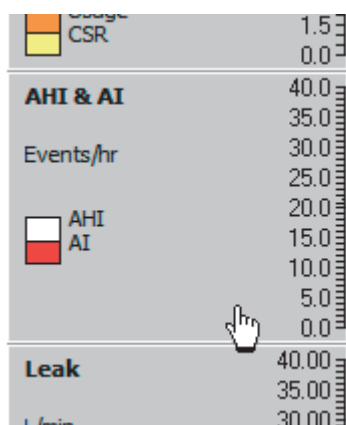
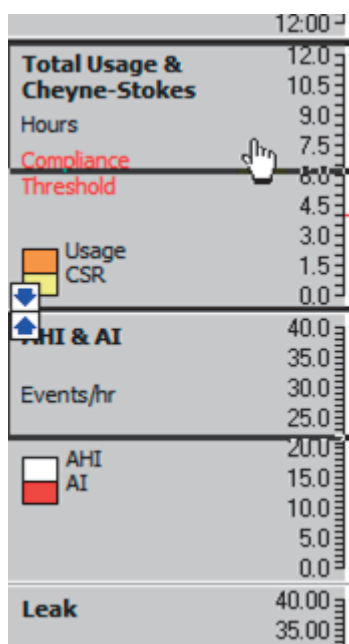
治療装置では、提供されている治療の種類に関するデータが収集されます。Summary Graphs（概要グラフ）タブおよび Detailed Graphs（詳細グラフ）タブに表示されるパラメータは、データのダウンロード元となる治療装置により異なります。 全般的な概略は表 1、「互換性がある治療装置から使用可能なデータの種類」に記載されています。 ResMed では、治療装置が利用可能パラメータ範囲を定義するための、データ管理ガイドを提供しております。

ツールを使用する上でのヒント

マウスポインタをトレース上に移動させると、グラフに含まれるデータの簡易概要数値が概要表示ボックスに表示されます。

Graphing options(グラフオプション) パネル

画面最上部のアイコンをクリックして、Graphing options（グラフオプション）パネル のオン・オフを切り替えます。 このパネルには、Summary(概要)、Navigation(ナビゲーション)、Detailed(詳細)の 3 つのタブがあります。 このパネルでは、トレース のオン・オフを切り替えたり、画面に表示されるトレースの数を調節することができ ます。 トレースの画面表示・非表示を切り替えるには、チェックボックスをクリック します。 特定の治療装置で利用できないトレースは表示されません。

トレースを配置させる

必要に応じてトレースの順番を並べ替えてグループ化することができます。 Graphing options（グラフオプション）パネルにて、表示させたいトレースをすべて選択します。 トレースの配置を動的に行うには

1. マウスポインタが手の形に変わるまで、マウスポインタを行のタイトル領域に移動させます。

2. クリックしてから、トレースを配置したいところまでドラッグし青色の矢印が表示されたらマウスのボタンを放します。

3. 配置をし直す他のトレースに対しても同様の操作を繰り返します。

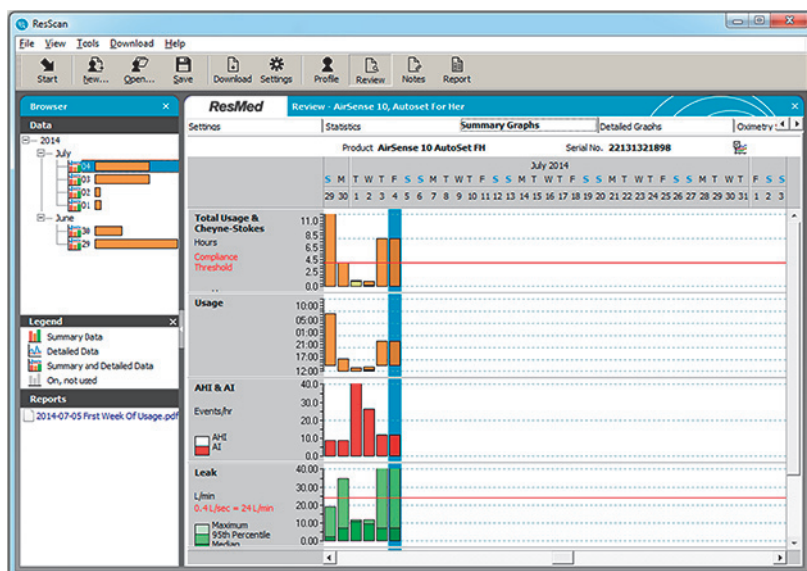
縦の範囲を調節する

データの選択された部分を表示するには

- トレースの目盛りをクリックし上下にドラッグして目的の縦の範囲に調節します。
- マウスポインタをトレース上に移動させると、右最上部に上下方向の矢印が表示されることがあります。 上下方向の矢印をクリックしてグラフを縦に動かし、目的の部分を表示さ せます。

トレースの目盛りをダブルクリックすると、初期表示に戻ります。

トレースの上限値と下限値を設定するには、「Options（オプション）ダイアログ」 『52ページを参照 』 をご覧ください。

Summary Graphs（概要グラフ）タブ

概要データは治療装置によって収集され、内蔵メモリに保存されます。 データはこの内蔵メモリからデータカードへコピーしたり、あるいは ResScan での表示用に直接取得することができます。 概要データに分類される情報には次のものがあります:

- 使用データ – 行われた治療の期間をまとめた情報
- 呼吸インデックス – 無呼吸や低呼吸など、検出された呼吸関連イベントを Apnea Index（AI: 無呼吸インデックス）や Apnea–Hypopnea Index（AHI: 無呼吸ー低呼吸インデックス）などの割合としてまとめた情報
- 治療の統計 – リークや呼吸回数などの治療パラメータに基づいて計算された統計をまとめた情報。

Summary(概要)タブに表示されるデータは使用される治療装置によって異なります。 表示されるトレースには以下のものが含まれることがあります:

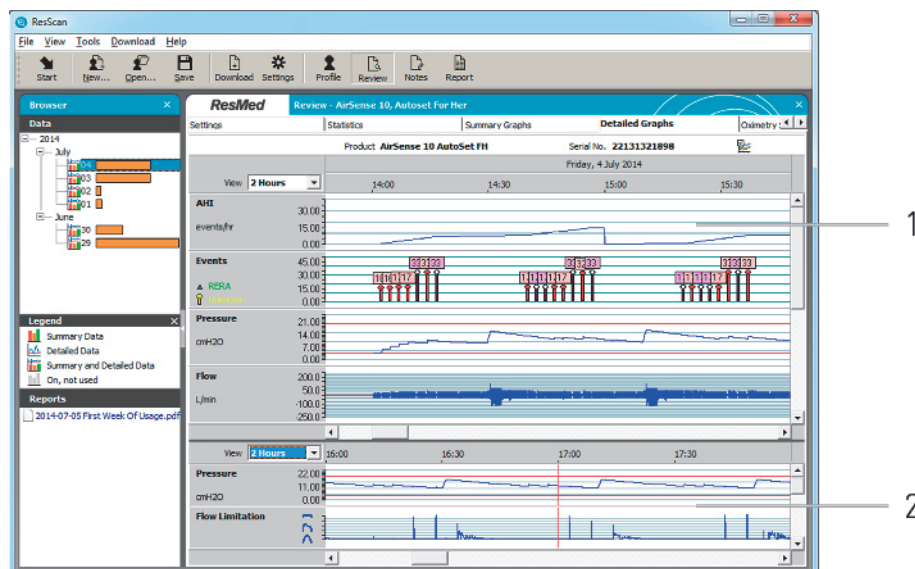
- Usage（使用)（時間： 分)。
- Pressure(圧力) (cm H_2O または hPa) – Mean(平均)、Inspiratory(吸気)、Expiratory(呼気)
- Leak（リーク）（L/分または L/秒）
- Apnea or Hypopnea events（無呼吸または呼吸低下イベント）
- AHI および AI（イベント数/時間）
- Minute Ventilation (L/min) and Target Ventilation（単位分当換気量（L/分）と目標換気量）
- 呼吸数（呼吸数/分）
- Tidal Volume（1 回換気量）（L/分）
- I：E 比率(%)。
- 処方圧力 – IPAP、EPAP (cm H_2O または hPa)
- %吸気トリガー
- %呼気トリガー

注記： リークや圧力の単位を変更したり、パラメータの縦範囲をカスタマイズするには、「Options（オプション) ダイアログ 『52ページを参照 』」を参照してください。

Summary Graphs（概要グラフ) を時間経過で表示する

水平スクロールバーを使用して 24 ヶ月の期間を移動させます。

注記： 一部のパラメータは、Maximum(最大値)、95th Percentile(95パーセンタイル値)、5th Percentile(5パーセンタイル値)、Median (中央値)またはMean (平均値)として計算され、表示されることがあります。 グラフの左側の凡例を確認してください。

Detailed Graphs（詳細グラフ）タブ

1	Navigation(ナビゲーション)ウィンドウ
2	Detailed data(詳細データ)ウインドウ

Detailed Graphs(詳細グラフ)タブに表示されるデータは使用される治療装置によって異なります。 表示されるトレースには以下のものが含まれることがあります:

- Pressure(圧力)(cm H_2O または hPa) – Mean(平均)、Inspiratory(吸気)、Expiratory(呼気)が含ま れることがあります(cm H_2O または hPa は **Tools**（ツール）> **Options**（オプション）> **Graphs**（グラフ）で設定できます)。
- Flow(フロー) (L/分または L/秒 – **Tools**(ツール) > **Options**(オプション) > **Graphs**(グラフ))で設定できます
- AutoSet Pressure(自動圧力設定) (cm H_2O または hPa)
- Leak（リーク）（L/分または L/秒）
- Apnea or Hypopnea events（無呼吸または低呼吸イベント） – 閉塞性、中枢性、原因不明などの異なった無呼吸イベントの分類が含まれることがあります。
- AHI および AI（イベント数/時間）
- Flattening（平坦化）/Flow limitation（気流制限） (フラットからラウンドまで)
- Snore(いびき)（小～大）
- Minute Ventilation (L/min) （単位分当換気量（L/分）と Target Ventilation(目標換気量)
- 呼吸数（呼吸数/分）
- Tidal Volume(1 回換気量)（mL）

- I:E”比率(%)
- 吸気時間（秒）。

注記： リークや圧力の単位や範囲を変更したり、パラメータの縦範囲をカスタマイズするには、「Options（オプション）ダイアログ」『52ページを参照 』を参照してください。

グラフにデータのない部分がある場合、その時点では治療装置が使用されていなかったことを示しています。 いずれかの段階でオキシメーターが落下したり患者と接触できなかった場合、Pulse Rate（脈拍数）および SpO_2（動脈血酸素飽和度）のトレースが空白になるかあるいは 0（ゼロ）として表示されます。

トレースを選択する

Graphing options（グラフオプション）パネルでは、Navigation（ナビゲーション）タブを使用 して上部 (ナビゲーション) ウィンドウに表示させるすべてのトレースを選択し、Detailed（詳細）タブを使用して下部 (詳細) ウィンドウに表示させるすべてのトレースを選択します。

割合の高いデータを表示させる

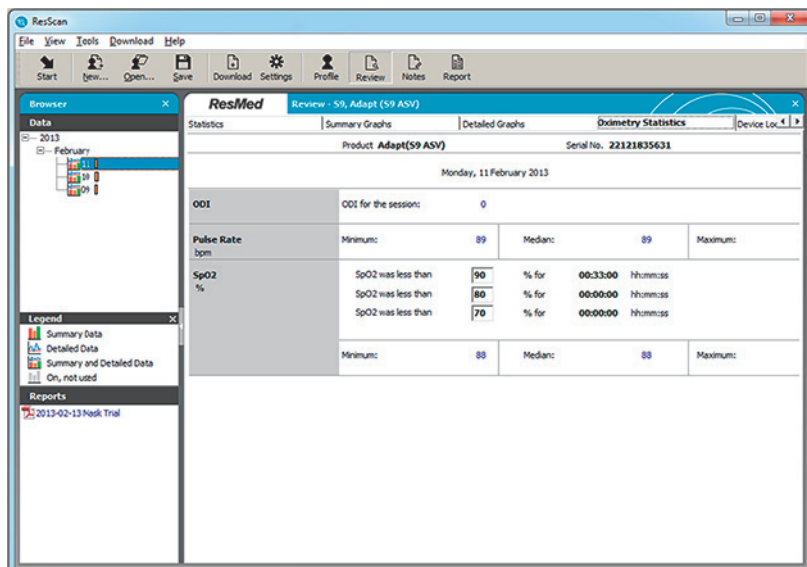
分割画面では割合の高いデータの表示が行いやすく、選択された期間によりユーザーがズームインやズームアウトを行うことができます。 ナビゲーションウィンドウの 2 本の明るい青 色の縦線は詳細ウィンドウに表示される期間を追跡し、詳細ウィンドウの赤色の縦線は基準 点を示しています。

表示される期間の設定

Detailed（詳細）タブの View（表示）ドロップダウンメニューを使用して、分割画面の各半分の画面に対し 10 秒から 24 時間の間で期間を設定します。 分割画面では、ナビゲーションウィ ンドウに表示される総期間の一区分をズームインし、詳細データウィンドウにズームインされた短 い期間区分を表示します。

ナビゲーション

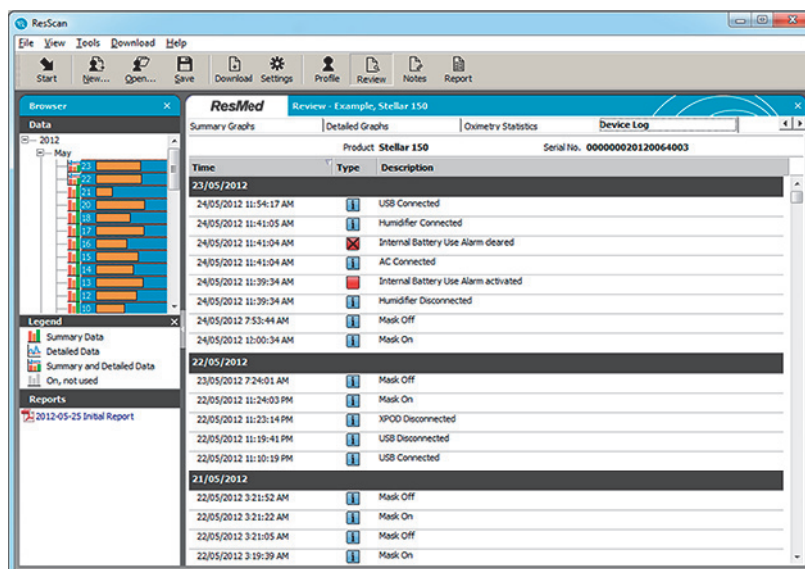
各ウインドウの下部にあるスクロールバーを使用し、データを水平にナビゲートします。 詳細データウィンドウに表示されるデータは、ナビゲーションウィンドウを使用してより簡単にナビ ゲートすることができます。 詳細データウィンドウに表示させる特定の期間を選択または変更する には、ズームインする箇所をナビゲーションウィンドウにてクリックします。

Oximetry Statistics（酸素飽和度測定統計）タブ

ResLink やオキシメーターモジュールの使用時には、酸素飽和度データはオキシメーターが収集し、SmartMedia カード、SD カードまたは USB スティックに保存されます。

このタブでは、SpO_2 レベルがユーザー定義の 3 つの値を下回った時間の長さを表示します。これら 3 つの値は用意されたフィールドに入力して変更します。. また、SpO_2 および脈拍数の両方に対する最小値、中央値、最大値と、酸素飽和度低下指数（ODI）も表示されます。 ODI（酸素飽和度低下指数）は、記録が行われたセッション中、単位時間あたりに酸素飽和が低下 する（つまり 3-4 パーセントの SpO_2 減少閾値に達する）イベントが生じた回数の平均値を指 しています。 この閾値の正確な値は、Tools(ツール) > Options(オプション) > Graphs(グラフ) > ODI Detection Parameters（ODI 検出パラメータ）から設定することができます。 新しい閾値はデータを再度読み込んだ後で有効になります。

Oximetry Statistics（酸素測定統計）を表示させるには、Oximetry Statistics（酸素測定統計）タブへ移動し、ブラウザで詳細データセッションをダブルクリックします。

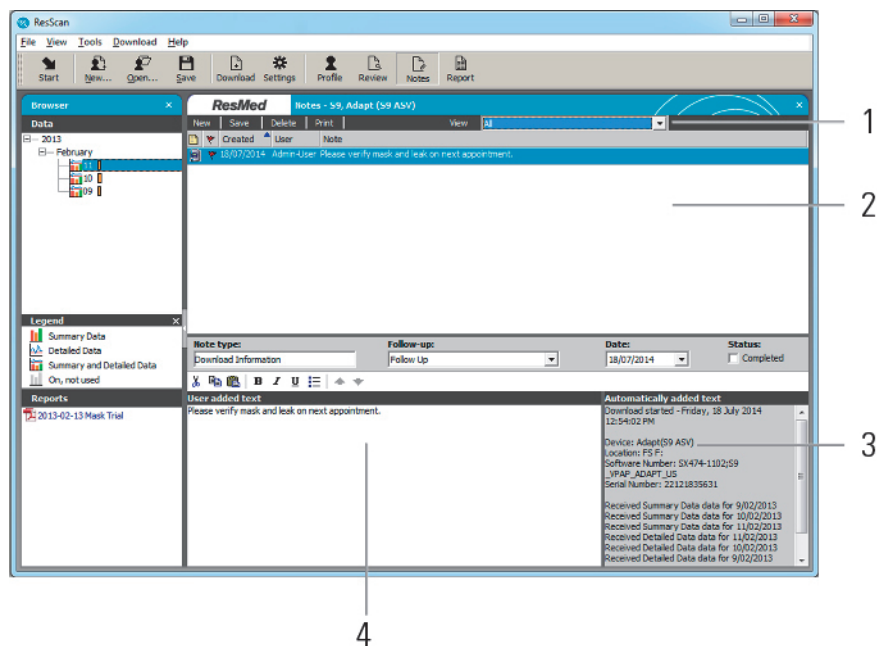
注記： 酸素飽和度測定統計は、該当する治療装置からのみ入手できます。

Device Log （装置ログ）タブ

装置ログは治療装置によって記録され、内部メモリに保存されます。 これらを内部メモリから ResMed USB スティックへコピーしたり、治療装置から直接取り出して ResScan に表示したりできます。 Device Logs（装置ログ）に分類された情報は 3 つのカテゴリーに分かれます。

- Alarm Events（アラームイベント）
- System Events（システムイベント）
- Settings Change（設定変更）

注記: 上記のイベントは特定の治療装置でのみ使用可能です。 使用可能な治療装置に関する詳細は、ResMed代理店までお問い合わせください。

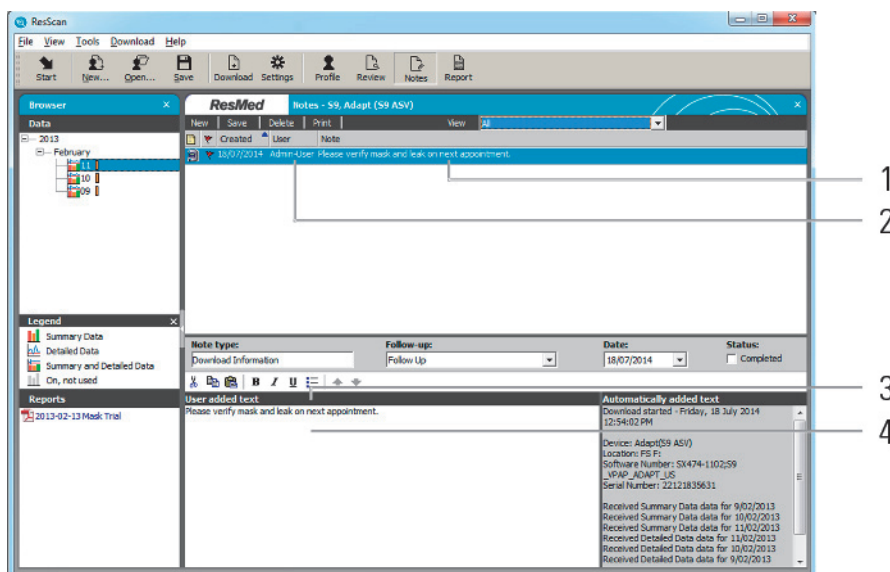
Notes(ノート)画面

Note(ノート)画面では、患者治療に関連して行われたすべてのデータダウンロードの記録とノートが表示されます。 ノートはアプリケーションにより自動的に作成されるほか、ユーザーが手動で作成することもできます。

1	Notes(ノート)ツールバー
2	Note summary(ノートの概要)
3	Automatically added text（自動追加テキスト）
4	User added text(ユーザ追加テキスト)

ノートをつける

テキストの編集や書式設定を行うための一般的なツールは、テキスト入力欄の上側に用意されています。ノートを順番にスクロールしていくには、上向き・下向きの矢印を使用します。

新規ノートの作成

Notes(ノート)画面ツールバーの New Notes（新規ノート）のアイコンをクリックします。User added text(ユーザー追加テキスト)の欄にカーソルが点滅し始めます。 User added text([ユーザー追加テキスト)の欄にノートを入力し、Notes(ノート)ツールバーの Save（保存）アイコンをクリックします。

1 ユーザー名はユーザーの Windows のログイン ID から得られます。

2 New note(新規ノート)は要約された形式で表示されます。

3 User Added Text (ユーザー追加テキスト)欄に入力された最初の行は Note (ノート)フィールドの上部画面に表示されます。 これはノートの要約としての機能を果たします。

4 ノートの本文には追加情報を加えます。

ノートの編集

ノートをクリックすると User added text(ユーザー追加テキスト)欄の全文を表示され、編集することができます。

ノートの削除

Notes(ノート)画面ツールバーの Delete（削除）アイコンを使用してノートの削除を行います。

ノートの印刷

Notes(ノート)画面ツールバーの Print（印刷）アイコンを使用してノートの印刷を行います。

ノートを表示させる

ノートには、Notes(ノート) 画面の View(表示) メニューを使用してフィルタ処理を行うことができます。

View(表示)メニューのオプションは次のとおりです。

- All(すべて):すべてのノートが表示されます。
- User Created （ユーザー作成)： ユーザーが入力するノート。
- Download Information(ダウンロード情報):ダウンロード中に自動的に記録される情報。
- Download Change History（変更ダウンロード履歴)： 装置設定の変更履歴。
- Settings Therapy(設定・治療):設定変更が適用される際に記録されるノート。
- Settings Reminder(設定・リマインダー)：:治療装置のリマインダーが設定されたときに記録されるノート。
- Report Text(レポートテキスト): Report (レポート)画面で作成されるレポートに記録されるノート（「Create a Report(レポートの作成) 『45ページを参照 』)参照」

フォローアップを設定する

ResScan では、特定の患者管理タスクを促すためのフォローアップを設定することができます。 フォローアップが設定されると、Start(スタート)画面にて削除されるまで表示されます。

フォローアップを作成する

フォローアップを設定するには、まず新規ノートを作成するかまたは既存ノートをクリックします。

画面の中ほどにある Follow-up メニューからフォローアップの種類を選択し､Reminder Date（リマインダーの日付）メニューから日付を選択します。

ノート本文部にはフォローアップに関する追加情報を加えることができます。

フォローアップの種類

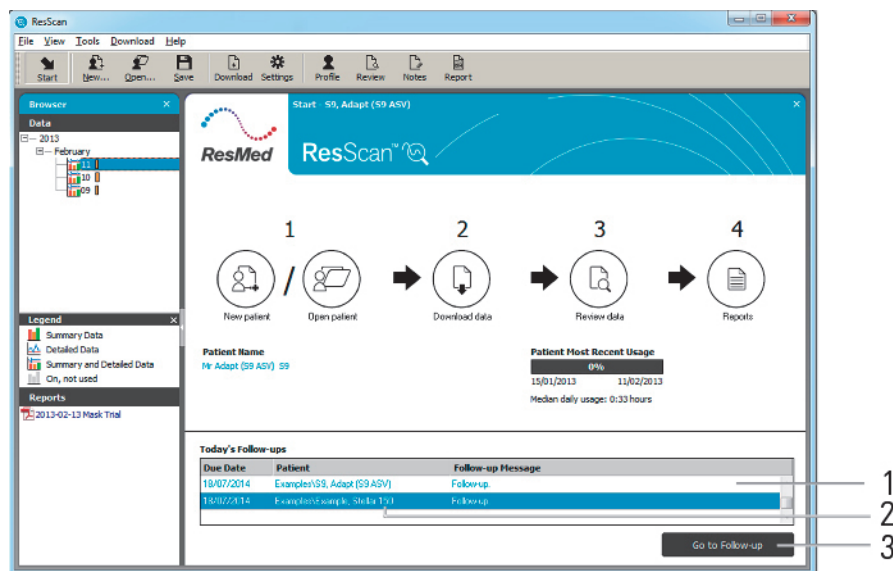
利用することのできるフォローアップには以下があります。

- Follow Up（フォローアップ）：一般的なフォローアップ。
- Service Due（点検サービス予定日）：治療装置の点検サービスが必要です。
- Call Provider（医療サービスへ連絡）：患者は医療サービス提供者に連絡を取る必要があります。
- Replace Mask（マスク交換）：患者はマスクを交換することを検討してください。
- Replace Filter（フィルタ交換）：患者は治療装置のフィルタを交換することを検討してください。
- Card Due（カード返却予定日）：患者は **ResScan** データカードまたは SmartMedia カードを返却してください。
- Check-up Due（検査予定日）：患者は検査を受けてください。
- Download Due（ダウンロード予定日）：患者は治療装置を持ち込み、ダウンロードしてください。
- Replace Water Tub(水桶の交換): 患者は水桶の交換を検討してください。
- Replace Tubing (チューブの交換): 患者はチューブの交換を検討してください。

注記: これらのフォローアップは、患者の治療装置に対してリマインダー設定を行いません。あなた自身に注意を呼びかけることを目的としています。 「設定の変更」 『49ページを参照 』を参照してください。

Options（オプション）ダイアログからフォローアップをカスタマイズする方法は、「Follow-ups（フォローアップ）タブ」 『53ページを参照 』を参照してください。

フォローアップのメッセージを表示する

フォローアップを設定すると、予定日当日または予定日を過ぎた場合に Start(スタート)画面にフォローアップが表示されます。 **Go to Follow-up**（フォローアップへ移動）ボタンを選択するか、あるいは **Todays' follow-ups**（今日のフォローアップ）の表にある目的のフォローアップに対応する行をダブルクリックすることで、Start(スタート)画面から直接 Follow-up(フォローアップ)画面へ移動して詳細を確認することができます。 予定日を過ぎたフォローアップは赤く表示されます。

1	Follow Up（フォローアップ）表示
2	ダブルクリックして go to Follow-up（フォローアップへ移動）画面を表示します。
3	ボタンをクリックして go to Follow-up(フォローアップへ移動）を表示します。

フォローアップ予定日が過ぎた場合、またはタスクが完了した場合は、Completed（完了）のボックスをクリックして Follow-up(フォローアップ)画面のリマインダーをオフにします。

Reports(レポート)画面

Reports(レポート)画面では、開いている患者ファイルのレポートを表示します。 既存のテンプレートを使用するか、またはレポートをカスタマイズして、必要な情報のみをレポートに含めることができます。

レポートの作成

まず Report(レポート)画面へ移動します。患者ファイルに詳細データがない場合やレポートのテンプレートが選択されていない場合は、自動的にレポートが作成されます。

患者ファイルと選択されたレポートテンプレートに詳細データがある場合、Select Data（データの選択）ダイアログが表示されます。 含める詳細データの日を選択します。 ブラウザでは、すでに選択されている日付が自動的に選択されます。

現在選択されているレポートのテンプレートが自動的に生成されます。 異なるレポートを作成するには、メニューからレポートの種類を選択します。 メニューからは、標準レポートのほかに、これまで作成したレポートのテンプレートが選択できます。**Add Comment**(コメント追加)ボタンをクリックして、標準レポートまたはカスタマイズされたレポートに追加のコメントを加えることができます。 コメントはレポート下部に 表示され、ノートとして保存されます。 「Viewing Notes(ノートの表示)」 『42ページを参照 』を参照してください。

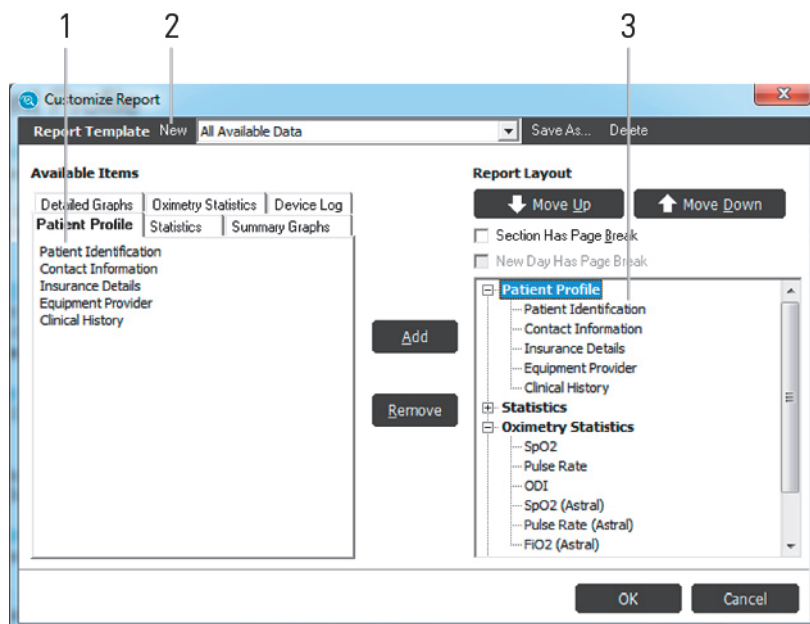
レポートに記載される情報は、使用される治療装置と選択されるテンプレートによって異なります。

テンプレートをカスタマイズまたは新規作成する

特定のデータセットを表示させるためにレポートのレイアウトをカスタマイズすることができます。

Report（レポート）画面ツールバーの **Customize**（カスタマイズ) をクリックします。

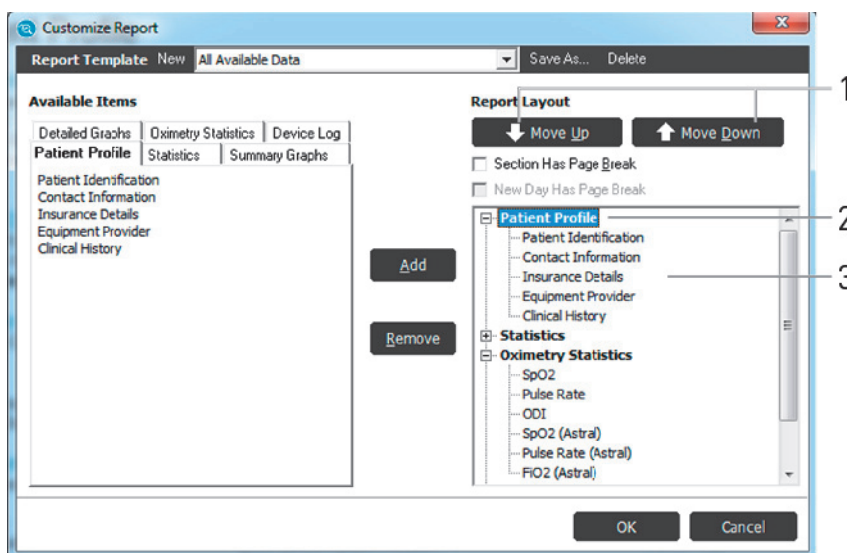
Customize Report（レポートのカスタマイズ）ダイアログボックスが表示されます。

新規のレポートテンプレートを作成するには、New (新規作成) ボタンをクリックするか、または更新する既存テンプレートを選択します。

1	レポートの項目を選択します。
2	新規レポート
3	レポートのレイアウトを整理します。

左側の Available Items (利用可能な項目) のそれぞれのタブには、利用可能な全パラメータ がまとめられています。 パラメータを 1 つ選択し Add (追加) をクリックすると、このパラ メータが右側に表示されます。 必要な詳細項目がすべて選択されるまで上記の手順を繰り返します。

レポートテンプレートのデータ項目が、治療装置によって異なることはありません。 治療装置で利用できないパラメータがレポートテンプレートに含まれた場合、レポートではこのパラメータが空白となります。

レポートの終わりにデータ定義を含めるには、「Reports（レポート）タブ」 『54ページを参照 』をご 覧ください。

これで、Report Layout（レポートレイアウト）の矢印ボタンを使用してレポートを整理することができるようになります。

1	上向き・下向きの矢印ボタンを使ってテンプレートのグラフを順番を変更することができます。
2	トップレベルパラメータ
3	二次パラメータ

移動させるパラメータを選択し、上向き・下向きの矢印ボタンをクリックします。 トップレベルパラメータを移動させると、それに伴い二次パラメータがすべて移動します。 二次パラメータは、自身の属するトップレベルパラメータ以下のグループ内でのみ移動させることができます。

OK をクリックしてレポートテンプレートを保存します。 レポートテンプレートに名称をつけ るよう指示されます。

レポートの印刷

Print（印刷）アイコンをクリックして、Adobe Reader（またはこれに相当する PDF リーダー）でレポートを表示します。 FIle(ファイル)メニューで Print(印刷)をクリックしてダイアログボックスを開き、レポートを印刷します。

レポートの E メール送信

注記: ResScanではMicrosoft Outlookにのみ対応しています。

Email(E メール) アイコンをクリックし、メール画面で操作を完了します。

規制によっては、患者のデータを電子的に送信する際は患者の識別を不能化しなければならない場合があります。 患者レポートを識別不能化したい場合:

1. Profile(プロフィール)画面で、一時的に個人同定可能情報を削除します。
2. レポートを生成します。
3. 変更を保存せずに患者ファイルを閉じます。

レポートの保存

Save（保存) アイコンをクリックし、書類ファイルに名称をつけます。 レポート は、患者ファイルの一部として PDF 形式で保存されます。 保存されたレポートは、ブラウザに表示されます。 Save As(名前を付けて保存)アイコンをクリックして、レポートを別の場所に保存することもできます。

キホンセッテイ

治療装置に直接ケーブル接続するか、データカード、SD カードまたは ResMed USB スティックを使用して、ResScan で装置の設定を変更することができます。

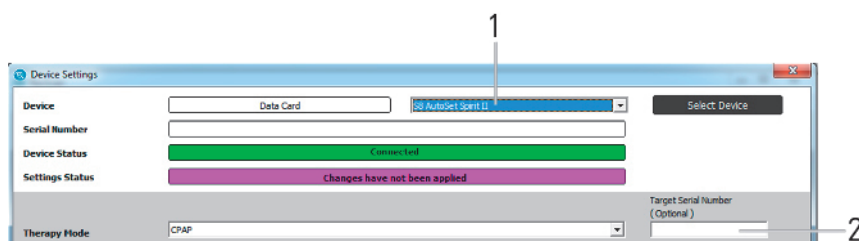
注記: 一部の治療装置ではこの機能が使用できないことがあります。

設定ダイアログを開く

設定を変更するには、ツールバーの **Settings**（設定）アイコンをクリックするか、または **Tools**(ツール)メニューから **Device Settings**（装置の設定）を選択します。 Device Settings（装置の設定）ダイアログボックスが表示されます。 **Select Device**（装置の選択）ボタンをクリックして接続されている治療装置、データカードあるいは ResMed USB スティックを選択します。 接続されている装置に適用するパラメータのみが表示されます。

Device Status（装置のステータス）フィールドおよび Setting Status (設定のステータス)フィールドは動的に表示されます。 このフィールドに示される可能性のある値には以下のものがあります。 Establishing Connection (接続中)、 Connected (接続完了)、 Applying Settings（設定中）、Settings Applied Successfully（設定が正常に完了しました）、 Access Failure（アクセス失敗）。

注記： 注記：ResScanがお使いの装置に接続するまでお待ちください。 これには40 秒ほどかかる場 合があります。

設定の変更

1	Target therapy device(目的の治療装置)ドロップダウンリスト
2	Target serial number（目的のシリアル番号）フィールド(オプション)

注記：

- 患者ファイルが開いていない場合、患者ファイルを開くまたは作成する、あるいは患者ファイルなしで続行するよう指示が表示されます。 患者ファイルを作成または開いた場合、

Notes(ノート)画面にて設定変更の履歴を追跡することができます。 患者ファイルなしで続行することを選択した場合、ノートは作成されません。

- データカードあるいは SD カードに書き込む場合、装置の設定変更が治療装置に適用された時点で装置上のデータが削除されます。
- Stellar 装置用に ResMed USB スティックへ書き込む場合、当該装置に対する設定変更が USB スティックに保存された後で、設定を複数の Stellar 装置にコピーできます。

1. 接続されている治療装置、または挿入されているデータカードが Device(装置)フィールドに表示されます。 Serial Number（シリアル番号）を確認し、正しい装置であることを確認します。 他の装置に変更を加える場合は、Select Device（装置の選択）ボタンをクリックし、リストから装置を選択します。 接続されている装置のみがリストに表示されます。

   注記： ResScan データカード、SD カードまたは ResMed USB スティックへ書き込む場合、Target Serial Number（目的のシリアル番号）フィールドに当該装置のシリアル番号を入力することができます。 これで目的の治療装置のみで設定処理を行えるようになります。 また Target Therapy Device (目的の治療装置) ドロップダウンリストを使用して、治療のリストを関連する装置だけに制限することもできます。 これらのフィールドは、ResScan データカードが接続されている場合にのみ表示されます。

2. 利用可能な治療モードが Therapy（治療）フィールドにリスト表示されるので、 必要な治療 モードを選択します。

   注記： ResScan データカードに書き込みを行う際、S8 Escape/Lightweight の治療モードは CPAP Basic（CPAP ベーシック）となります。 カスタマイズされたリマインダーをこれらの製品 に対して設定することはできません。

3. 現在の設定が Settings(設定)のセクションに表示されます。これらの設定は矢印を使用して変更することができるほか、一部の設定に関してはテキストボックスに直接値を入力することで変更を行うことができます。

   注記：治療装置でサポートされていない値を入力した場合、テキストボックスからフォーカスが離れると、入力した値がサポートされる値へ変更されます。

4. リーク警告やアラーム機能のステータスは Alert（警告）セクションに表示され、必要に応じてドロップダウンメニューから変更を行うことができます。

5. 利用が可能なマスク、加湿器、チューブの長さなどのオプションは、Options（オプション）セクションに表示されます。 ケーブルによって装置に接続されている場合は、装置の日時を変更することもできます。

6. 一部の治療装置に対してはリマインダーを設定することができます。 リマインダーは治療装置の LCD 画面に表示されます。 また一部の治療装置に対しては、当初のリマインダ

一設定日から一定間隔でリマインダーが繰り返されるように、各リマインダーを設定できます。

注記： リマインダーの繰り返し設定に対応しない装置でデータカードを使用する場合、繰り返し設定は無視されます。

7. 複数のプログラムに対応する装置に関してはプログラム変更が可能です。 その際は、Options（オプション）の Program(プログラム)ドロップダウンメニューから当該プログラムを選択します。 選択したプログラムの名称が正しいかどうかを確認します。

   注記： プログラム変更によって新しいプログラムがアクティブ化され、現在の設定を適用します。

8. 必要な設定を変更し終えたら、Apply（適用）をクリックします。 ここで設定のステータス を確認し、設定変更の適用が完了したことを確認します。 設定にコンフリクト（衝突・不一致）がある場合は、設定のステータスに表示されます。 作業が完了したら Close（閉じる）ボタンをクリックします。 設定が適用されるとノートが追加されます。

変更された設定の適用

治療装置に対して直接行われた設定変更は、Apply（適用）をクリックするとただちに適用されます。 データカードに変更を加えた場合、カードをリーダー装置から取り外し患者に送ります。 装置のユーザーガイドには、装置へ新設定を読み込むためにデータカードをデータカードモジュールへ挿入する方法が説明されています。[1]

[1] S8 シリーズ II に関するデータカードの使用については、お使いの装置に付属の CD-ROM を参照してく ださい。

ResScan のカスタマイズ

このセクションでは、ResScan をカスタマイズする方法を説明します。

Options（オプション）ダイアログ

Tools（ツール）メニューの Options（オプション）ダイアログには、Preferences（ユーザ設定）、 Follow-ups（フォローアップ）、Report（レポート）、および Download（ダウンロード）の 4 つ のタブがあります。

Preferences（ユーザ設定）タブ

- Compliance threshold（コンプライアンス閾値）： 患者用のコンプライアンスを定義する時間を選択します。この数値は､Start(スタート)画面における Patient Most Recent Usage Bar（患者最新使用状況バー）の表示､および Statistics（統計）タブにおける Used Days(使用日数) > XX:YY（>ページ）の表示を計算するのに用いられます。 この値は、患者がコンプライアンスを実践するために治療装置を使用すべき最低時間数を指しています。 また、コンプライアンスレポートで患者の CMS コンプライアンスを判断する際にも用いられます。
- Start Screen Usage(スタート画面使用表示)： Patient Most Recent Usage(患者使用状況) バー 表示計算のために、1 週間から 1 年間の間で期間を設定します。 このフィールドは、Start(スタート)画面でのコンプライアンスの割合概略表示に利用可能な最後のセッション以前の期間を表しています。

- Leak/Flow units(リーク/フロー単位)： L/秒または L/分を選択します（この情報は概要グラフおよび詳細グラフに反映されます）。
- Pressure Units（圧力単位）（統計、概要および詳細グラフ)： 圧力単位の表示を cm H_2O または hPa に設定します。
- Time Scale (時間スケール)(概要グラフのみ)： 時間表示を、12 時間午前/午後表示または 24 時 間表示に設定します。
- ODI Detection Parameters(ODI 検出パラメータ)： SpO_2 減少閾値に対し 3-4% の値を設定します。 SpO_2 減少閾値は、酸素飽和がイベントとして検出されるために必要な酸素飽和減少率を定義しています。
- Clinical Scheme (臨床計画) (Stellar 専用の設定)： バイレベル設定には PEEP/PS あるいは EPAP/ IPAP のいずれかを選択してください。
- Height and weight units（身長と体重の単位)： 身長と体重を cm/kg で表示するか、インチ / ポンドで表示するかを選択します。
- Summary Graph Ranges (概要グラフ範囲)および Detailed Graph Ranges(詳細グラフ範囲)：グラフに表示されるパラメータの上限および下限を設定します。

Follow-ups (フォローアップ)タブ

Options

Preferences | Follow-ups | Report | Download

Follow-Up Alerts Customization

☐ Customize Follow-Up Alerts

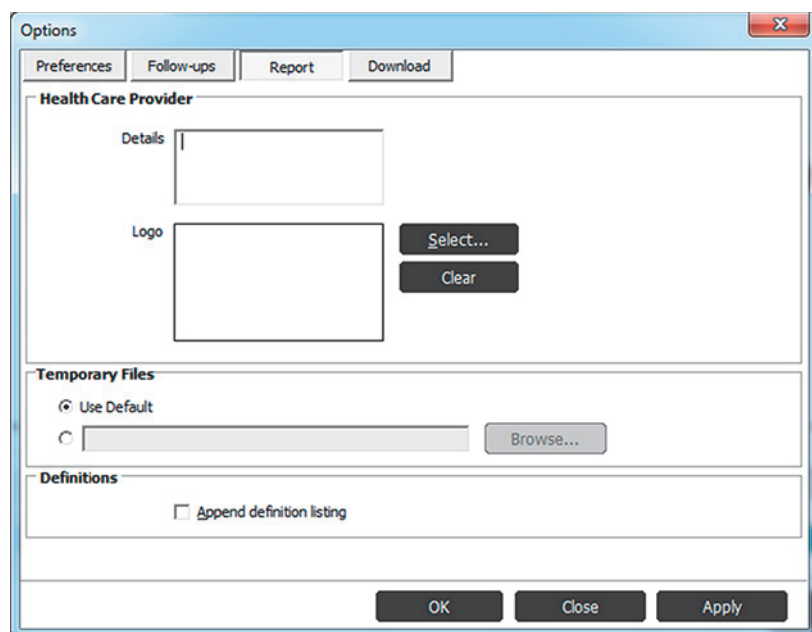
Follow-Up Alert Types	Follow-Up Alert Messages
Follow Up	Follow-up.
Service Due	Service of equipment due.
Call Provider	Patient will call you today.
Replace Mask	Replace patient's mask.
Replace Filter	Replace filter.
Card Due	Data Card due back.
Check-up Due	Check-up due.
Download Due	Download due.
Replace Water Tub	Replace patient's water tub.
Replace Tubing	Replace patient's tubing.

OK | Close | Apply

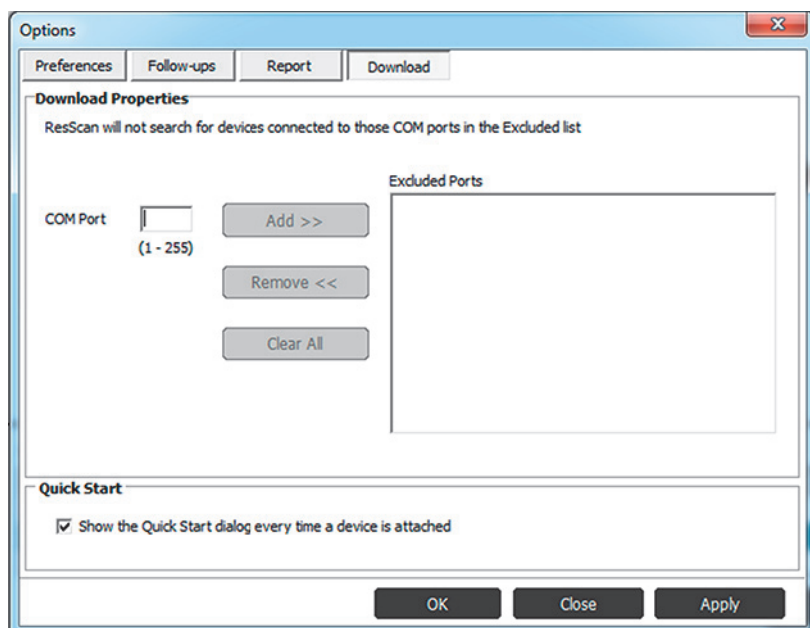
ResScan でフォローアップメッセージの表示のされ方をカスタマイズするには、Customize Follow-Up Alerts（フォローアップ警告をカスタマイズ）を選択します。 このオプションが選択されると、両方の列に表示されるテキストが青色で表示され編集できるようになります。1 番目の列のテキストを編集すると、Notes(ノート)画面の Follow-up（フォローアップ）ドロ

ップダウンリストにおける Customize Follow-Up Alerts（フォローアップ警告をカスタマイズ）の表示が変更されます。 2 番目の列のテキストを編集すると、Notes(ノート)画面およびStart(スタート)画面の両方で、Customize Follow-Up Alerts（フォローアップ警告をカスタマイズ）の表示が変更されます。

注記： このタブにおけるフォローアップの種類およびメッセージに変更が加えられると、既存のフォローアップ、まだ処理されていないフォローアップ、将来に処理されるフォローアップにもその変更が適用されます。

Reports（レポート）タブ

- Details（詳細）： レポートに表示する医療サービス提供者名を入力します。
- Logo（ロゴ）： レポートに表示するロゴを追加します。 Select（選択）ボタンをクリックして Select Logo Image（ロゴ画像の選択）ダイアログボックスを開きます。 画像を選択して Open（開く）ボタンをクリックし、ロゴとして追加します。 ロゴを削除するには、Clear （クリア）ボタンをクリックします。
- 一時ファイル： この設定により、レポートの作成時に作成された一時ファイルの保存場所が制御されます。 Use Default（初期設定の使用）により、一時ファイルは標準ウィンドウの一時フォルダに保存されます。 もう一方のオプションでは、ユーザーは必要なフォルダを選択することができます。
- Definitions（定義）: よく使用されるデータの定義をレポートの終わりに追加します。

新規テンプレートを作成することで、レポートをカスタマイズすることができます。 "「新規レポートのテンプレートをカスタマイズまたは作成する」 『45ページを参照 』を参照してください。

Download（ダウンロード）タブ

Download（ダウンロード）タブでは、利用可能なすべての COM ポートから ResMed 装置を検索するのではなく、ResMed 装置以外の装置が接続されている COM ポートを ResScan の検索リストから除外することができます。 ResScan アプリケーションと、COM ポー トを使用する可能性がある非 ResMed アプリケーションの間に起こる競合の発生が最低限に 抑えられます。

COM ポートを除外するには、COM ポートのボックスに数値を入力して **Add>>**（追加）を ク リックします。 除外されるポートのリストからポートを削除するには、削除の対象とな る ポートを選択し、**Remove<<**（削除）をクリックします。 Clear All（すべて削除）をクリ ックす ると、除外されるポートのリストからすべてのエントリーが削除されます。

このタブでは、クイックスタートの機能をオン/オフにすることもできます。

注記： このタブにアクセスすると、接続されている治療装置を検索する際、このタブで行う設定がResScanの検索方法に影響することを知らせる警告メッセージが表示されます。 続行するには**OK**をクリックします。

トラブルシューティング

インストール

問題	考えられる原因	解決方法
ResScan がインストールで きません。	オペレーティングシステムはサポートされていません。	サポートされているオペレーティングシステムにアップグレードします。
	Windows Installer が作動していません。	Windows Installer サービスを開始します。 • お使いのコンピュータの Control Panel（コントロールパネル）から、**Administrative Tools**（管理ツール）> **Services**（サービス）に移動します。 • リスト内に Windows Installer を見つけ、ダブルクリックします。 • Service Status（サービスステータス）で **Start**（スタート）をクリックします。
SmartMedia カード、SD カードリーダー、または ResMed USB スティックのドライバがインストールに使用できません。	ドライバがオペレーティングシステムで必要とされていません。	何もする必要はありません。
ResScan が起動しません。	一部の設定ファイルが読み取り不可能な可能性があります。	ResScan を修復、または再インストールしてください。

ダウンロード

問題	考えられる原因	解決方法
ResScan を実行している PC には治療装置が接続されていますが、	治療装置のスイッチがオフになっています。	装置の電源をオンにし、装置が自己診断テストを行うまで数秒間お待ちください。

問題	考えられる原因	解決方法
Download Data(データのダウンロード)ダイアログの Device(装置)ボックスが空白になっています。	データケーブルが接続されていません。	データケーブルを接続します。(「治療装置をコンピュータに接続す る」『21ページを参照 』参照)。
	正しくないケーブルが接続されてい ます。	必ずお使いの治療装置用の正しい ResMed ケーブルを使用してください。
	システムのリソースが不足しています。	他のアプリケーションを終了してください。
	Options（オプション）で COM ポートが除外されています。	**Tools**（ツール）> **Options**（オプション）> **Download**（ダウンロード） タブで COM ポートを除外してください。
	ResMed USB アダプタ用ドライバがインストールされていません（S8/S9 シリーズの治療装置を取り付けている場合 ）。	正しいドライバをインストールし、もう一度試してください。 注記： ドライバのソフトウェアは ResScan CD あるいはプログラムメニュー（**Start**(スタート) > **All Programs**（すべてのプログラム） > **ResMed** > **ResScan** > **Drivers**（ドライバ） > **ResMed USB Adapter**（ResMed USB アダプタ））からインストールできます。
	ResMed Ventilator（Stellar 装置に取り付けている場合）のドライバがインストールされていません。	正しいドライバをインストールし、もう一度試してください。 注記： ドライバのソフトウェアは ResScan CD あるいはプログラムメニュー（**Start**(スタート) > **All Programs**（すべてのプログラム） > **ResMed** > **ResScan** > **Drivers**（ドライバ） > **ResMed USB Direct Connection**（USB 直結）からインストールできます。

問題	考えられる原因	解決方法
	装置がサポートされていません。	接続された装置は、このバージョンの ResScan でサポートされていません。 詳細については、http://www.resmed.com/resscan/compatibility を参照してください。
SmartMedia カードリーダーには SmartMedia カードが挿入されていますが、Download Data（データのダウンロード）ダイアログの Device（装置）ボックスが空白になっています。	SmartMedia カードリーダー用のドラ イバがインストールされていません。	正しいドライバをインストールし、もう一度試してください。 注記： **ResMed** 推奨のリーダー装置を使用している場合、その装置用のドライバは **ResScan** インストール **CD-ROM** に含まれています。
	SmartMedia カードリーダーが正しく接続されていません。	SmartMedia カードリーダーをコンピュータに挿入し直してください。 カードリーダーが正しい方向に挿入されていることを確認してください。
	SmartMedia カードが、カードリー ダーに正しく挿入されていません。	SmartMedia カードを挿入し直してください。 カードが正しく挿入され、可能な限りカードリーダーの奥まで挿入されていることを確認してください。 さらに詳しい説明が必要な場合は、ResMed までご相談ください。
	SmartMedia カードに、ResMed 治療装置からのデータが含まれていません。	SmartMedia カードが、ResLink および ResMed 治療装置と併用されていることを確認してください。

問題	考えられる原因	解決方法
Download Data（データのダウンロード）ダイアログの Device（装置）ボックスに表示されているとおりに SmartMedia カードが検出されていますが、ダウンロードを完了できません。	SmartMedia カード上のデータが破損しています。	Windows エクスプローラから SmartMedia カード上のファイルを開けるかどうか確認してください。 ファイルが開けない場合は、カードが損傷している可能性があります。 データの再回収を試みて復旧できるかもしれませんが、大量のデータが恒久的に失われている可能性があります。 ResMed までご相談ください。
SD カードは SD カードリーダーに挿入されていますが、Download Data (データのダウンロード)ダイアログボックスの Device(装置)ボックスが空白になっています。"	SD カードリーダー用のドライバがインストールされていません。	正しいドライバをインストールし、もう一度試してください。
	SD カードリーダーが正しく接続されていません。	SD カードリーダーをコンピュータに挿入し直してください。 カードリーダーが正しい方向に挿入されていることを確認してください。
	SD カードが、カードリーダーに正しく挿入されていません。	SD カードを挿入し直してください。 カードが正しく挿入され、可能な限りカードリーダーの奥まで挿入されていることを確認してください。 さらに詳しい説明が必要な場合は、ResMed までご相談ください。
	SD カードに、ResMed 治療装置からのデータが含まれていません。	SD カードが、ResMed 治療装置と併用されていることを確認してください。

問題	考えられる原因	解決方法
Download Data（データのダウンロード）ダイアログの Device（装置）ボックスに表示されているとおりに SD カードが検出されていますが、ダウンロードを完了できません。	SD カード上のデータが破損しています。	Windows エクスプローラから SD カード上のファイルを開けるかどうか確認してください。 ファイルが開けない場合は、カードが損傷している可能性があります。 データの再回収を試みて復旧できるかもしれませんが、大量のデータが恒久的に失われている可能性があります。 ResMed までご相談ください。
次の SD カードを挿入したのに、正しい治療装置が表示されません。	スロットに挿入した SD カードは一枚だけ検出されます。	最初にスロットに挿入した SD カードを取り出してください。
USB ポートに ResMed USB スティックは挿入されていますが、 Download Data(データのダウンロード）ダイアログボックスの Device（装置）ボックスが空白になっています。	ResMed USB スティックのドライバがインストールされていません。	正しいドライバをインストールし、もう一度試してください。
	USB ポートに ResMed USB スティックが正しく挿入されていません。	ResMed USB スティックを挿入しなおしてください。USB スティックが正しい方向に挿入され、USB ポートのできるだけ奥まで挿入されているか確認してください。 さらに詳しい説明が必要な場合は、ResMed までご相談ください。
	ResMed USB スティックに ResMed 治療装置のデータが保存されていません。	ResMed USB スティックと ResMed 治療装置を併用したかどうかを確認してください。

問題	考えられる原因	解決方法
Download Data（データのダウンロード）ダイアログの Device（装置）ボックスには ResMed USB スティックが表示されますが、ダウンロードを完了できません。	ResMed USB スティックのデータが破損しています。	Windows エクスプローラから ResMed USB スティック上のファイルを開けるかどうか確認してください。 ファイルが開けない場合、ドライブが損傷している可能性があります。 データの再回収を試みて復旧できるかもしれませんが、大量のデータが恒久的に失われている可能性があります。 ResMed までご相談ください。
複数の装置からのデータを含む ResMed USB スティックを接続すると、ResScan は 1 つの装置のデータのみをダウンロードします。	ResScan は、一度に 1 つの装置からのデータのみをダウンロードできます。 USB スティックに複数の装置からのデータが含まれていると、ResScan は USB スティック上の最初の装置（シリアル番号順）からのデータをダウンロードします。	一度に 1 つの装置のみからのデータを ResMed USB スティックにダウンロードしてください。 装置からデータをダウンロードする前に、USB スティックからすべてのデータが削除されていることを確認してください。 これが望ましいオプションです。 あるいは、最初の装置からデータをダウンロードした後、Windows エクスプローラで USB スティックを開けて、ダウンロードしたデータを削除してください。 各装置でこの手順を繰り返してください。
カードリーダーには ResScan データカードが挿入されていますが、Download Data（データのダウンロード）ダイアログの Device（装置）ボックスが空白になっています。	ResScan データカード用のドライバが インストールされていません。	正しいドライバをインストールし、もう一度試してください。 注記：**ResMed** 推奨のリーダー装置を使用している場合、ドライバソフトウェアは **ResScan** インストール **CD-ROM** に含まれています。

問題	考えられる原因	解決方法
	サポートされていないオペレーティン グシステムを使用しています。	ResScan データカードリーダーは、Windows NT オペレーティングシステムと互換性がありません。 Windows オペレーティングシステムの新しいバリエー ションへのアップグレードが必要になる ことがあります（例：Windows XP、Windows Vista または Windows 7)。 ResMed までご相談ください。
	ResScan データカードリーダーが正しく接続されていません。	ResScan カードリーダーをコンピュータに挿入し直してください。 カードリーダーが正しい方向に挿入されていることを確認してください。
	ResScan データカードが、カードリー ダーに正しく挿入されていません。	ResScan データカードを再び挿入してください。 金色の接触端子が上を向くよう にカードが正しく挿入され、可能な限り カードリーダーの奥まで挿入されている ことを確認してください。 さらに詳しい説明が必要な場合は、ResMed までご相談ください。
	ResScan データカードに、ResMed 治療装置からのデータが含まれていません。	ResScan データカードが、ResMed 治療装置と併用されていることを確認してください。
Download Data（データのダウンロード）ダイアログの Device（装置）ボックスに表示されているとおりに ResScan データカードが検出されていますが、ダウンロードを完了できません。	ResScan データカードに、ResMed 治療装置からのデータが含まれていません。	ResScan データカードが、ResMed 治療装置と併用されていることを確認してください。
	ResScan データカード上のデータが 破損しています。	カードが損傷している可能性があります。 データの再回収を試してみます。 ResMed までご相談ください。

問題	考えられる原因	解決方法
ダウンロード中に接続エ ラーが発生し、 エラーダイ アログが表示されます。	装置のスイッチがオフになっています。	装置の電源をオンにし、装置が自己診断テストを行うまで数秒間お待ちください。 再ダウンロードをお試しください。
	データケーブルが正しく接続されてい ません。	データケーブルを正しく接続します (「治療装置をコンピュータに接続する」『21ページを参照 』参照)。
	正しくないケーブルが接続されてい ます。	必ずお使いの治療装置用の正しい ResMed ケーブルを使用してください。
SmartMedia カード、データカード、SD カード、ResMed USB スティックが ResScan に検出されません。	SmartMedia カード、データカード、SD カード、ResMed USB スティックなどの複数の装置が同時にコンピュータに接続されています。	ResScan データカードリーダーを取り外します。 数秒待ってから SmartMedia カード、データカード、SD カード、ResMed USB スティックにアクセスできるかどうかを確認します。 ResScan データカードリーダーを接続しなおします。 SmartMedia カード、データカード、SD カード、ResMed USB スティックにアクセスできるかどうかを確認します。
SmartMedia カード、データカード、SD カード、ResMed USB スティックを読み込めません。	ResScan によるカードや ResMed USB スティックのアクセス中にそれらが取り外されました。	コンピュータを再起動し、データカードリーダーや ResMed USB スティックにアクセスしなおします。 注記： カードリーダーのアクセスランプが点灯している間は、カードを取り外さないでください。
ResScan データカード、SmartMedia カード、SD カードまたは USB メモリからダウンロードしたデータが、予想される使用と一致しません。	治療装置から ResScan データカード、SmartMedia カード、SD カード、あるいは ResMed USB スティックへのデータ転送が完了していません。	データを再回収するか、または患者にデータの再収集を指示してください。 ResScan データカードの正しい使用方法につきましては、治療装置の医療従事者用取扱説明書を参照してください。

問題	考えられる原因	解決方法
詳細データがダウンロードされません。	詳細データがダウンロードするデータとして選択されていません。	QuickStart(クイックスタート)を使ってダウンロードする際は、Select Data Type to Download（ダウンロードするデータの種類を選択）のチェックボックスをオンにします。 Create Report/View Data（レポート作成/データ表示）をクリックしたら、All Summary data and ...（すべての概要データ...）を選択して、ドロップダウンメニューから「All（すべて）」を選択します（「クイックスタート」 『12ページを参照 』を参照）。 手動でダウンロードする際は、データ行の Select（選択）ボタンをクリックします。 All Summary data and ... (すべての概要データ...)を選択し、 メニューから「All(すべて)」を選択します（「ダウンロードの手順」 『20ページを参照 』を参照）。
	治療中に SD カードが挿入されていませんでした。	治療を開始する前に SD カードを S9 に挿入してください。
詳細データは利用できますが、気流データを利用できません。	高率データがダウンロードするデータとして選択されていません。	ダウンロードの際に、Include equivalent number of high rate data sessions (if available)（可能であれば高率のデータセッションを同数含める）のチェックボックスをオンにします。 Set these as my default options（マイデフォルトとして設定する）のチェックボックスをチェックします。

問題	考えられる原因	解決方法
	高率データは、装置対応の制限値よりも古いデータです。それ以前のセッションに関する高率データは自動的に抹消されます。正しい制限値については、治療装置のデータ管理ガイド を参照してください。	何もする必要はありません。
既存セッションの気流データが消失しました。	ダウンロードされた複製セッション（気流データを含まない）が既存セッションを上書きしました。	ダウンロードの際に、Include equivalent number of high rate data sessions (if available)（可能であれば高率のデータセッションを同数含める）のチェックボックスをオンにします。 Set these as my default options（マイデフォルトとして設定する）のチェックボックスをチェックします。 注記： なお、気流データを含まない新たなダウンロードについては効果がありません。
ポートが使用不可と表示さ れます。	ResScan と、COM ポートのアクティビ ティをモニタする他のアプリケーション/ ドライバが競合している可能性が あります。	技術サポート部門までご相談ください。 さらに詳しい説明が必要な場合は、ResMed までご相談ください。
ResScan の実行中、COM ポートを介して接続された 装置に他の非 ResMed アプリケーションがアクセスすることができません。	ResScan と、同じ COM ポートにアク セスしようとする他のアプリケーショ ン/ ドライバが競合している可能性が あります。	非 ResMed 装置が接続されている COM ポートを、ResScan の検索リストから除外してください。ポートの除外は、Tools（ツール） > Options（オプション） > Download（ダウンロード）で行います。

問題	考えられる原因	解決方法
Lumis Tx device(装置)からSD カードを接続した場合、「クイックスタート」ウィンドウは表示されません。	Lumis Tx は「クイックスタート」ウィンドウとは互換性がありません。	データをダウンロードするにはダウンロードの手順 『20ページを参照 』および複数の患者のデータのダウンロードを参照してください。 『21ページを参照 』

レポート

問題	考えられる原因	解決方法
レポートが作成できません。	正しいバージョンの Internet Explorer がインストールされていません。	Internet Explorer 6.0（またはそれ以降の バージョン) をインストールしてくだ さい。
	レポートジェネレータは、デフォルトの一時的パスと適合しません。	**Tools**（ツール） > **Options**（オプション） > **Report**（レポート）から一時的フォルダを変更します。

基本設定

問題	考えられる原因	解決方法
ResScan を実行しているPC には治療装置が接続されていますが、設定の適用を完了できません。	装置のスイッチがオフになっています。	装置の電源をオンにし、装置が自己診断テストを行うまで数秒間お待ちください。
	データケーブルが接続されていません。	データケーブルを接続します(「治療装置をコンピュータに接続す る」 『21ページを参照 』参照)
	正しくないケーブルが接続されてい ます。	必ずお使いの治療装置用の正しいResMed ケーブルを使用してください。
	システムのリソースが不足しています。	他のアプリケーションを終了してください。

問題	考えられる原因	解決方法
ケーブル接続にて設定変更を行ったのに、変化が見られません。	設定が正しく適用されていません。	ノートに自動追加された Settings Therapy（設定・治療）ノートを見直し、目的の設定が適用されたかどうかを確認してください。設定が適用されていない 場合、設定を再適用してください。
ResScan データカード、または SD カードで治療装置設定を変更したのに、変化が見られません。	データカードが患者に送られる前に、目的の設定がカードに書き込まれてい ませんでした。	ノートに自動追加された Download Information（情報ダウンロード）ノートを見直し、目的の設定がカードに転送されていることを確認してください。転送されていない場合は、目的の設定を使用して ResScan データカード、または SD カードを作成し直し、患者に送付してください。
	目的の設定はカードに書き込まれてい ましたが、患者が正しく適用を行えま せんでした。	目的の設定がカードに転送された旨の記録が Settings Therapy（設定・治療）ノート（上記参照）にみられる場合は、患者に設定の適用を再度行うように指示します。 ResScan データカードを介した正しい設定適用方法については、治療装置の臨床医用取扱説明書を参照してください。
Settings(設定)画面が空白です。	装置が選択されていません。	装置を選択するには、「設 定ダイアログを開く」を参照してください 『49ページを参照 』。
日付をさかのぼって設定す ることができません。	治療装置またはデータカードにデータが保存されています。	治療装置またはデータカードからすべてのデータを消去してください。 注記：消去されたデータは復旧することができません。 必要に応じて、消去を行う前にデータを治療装置またはデータカードから患者ファイルへダウンロードしてください。

問題	考えられる原因	解決方法
患者から受け取った ResScan データカードでは、 現在の設定が表示されません。	ResScan は、ResScan データカードの 初期値のみを表示します。	ノートに自動追加された Settings Therapy（設定・治療）ノートにて、ResScan データカードの現在の設定を見直してください。
ResScan データカード、SmartMedia カード、または SD カードを読み取れません。	ResScan がアクセスを行っている最中 にカードが取り外されました。	コンピュータを再起動し、データカードリーダーに再びアクセスしてください。 注記：カードリーダーのアクセスランプが点灯している間は、カードを取り外さないでください。
Stellar 装置のリマインダーを設定できません。	使用時間 2 時間未満の新装置です。	2 時間以上治療を継続してからリマインダーを設定しなおしてください。

技術資料

規格

ResScan は次に挙げる規格に準拠しています。

- ISO 13485:2003
  医療機器 – 品質マネジメントシステム – 規制目的のための要求事項
- ISO 14971:2007
  医療機器ー医療機器へのリスクマネジメント適用）
- IEC 62366:2007
  医療機器-医療機器へのユーザビリティ工学の適用
- IEC 62304:2006
  医療機器ソフトウェア-ソフトウェアライフサイクルプロセス
- EN 980:2008
  医療機器の表示に使用する記号
- EN 1041:2008
  医療機器の製造者により提供された情報

記号

ソフトウェアおよびパッケージ

LOT バッチコード

REF カタログ番号

製造者の名称および住所

医療従事者用説明書を参照

EC REP EU 正規代理店